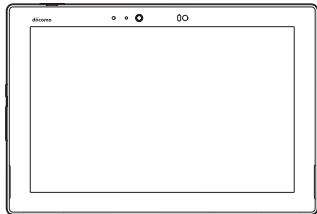
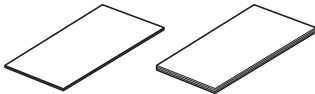


本体付属品

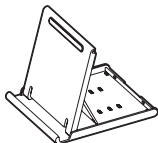
■ F-02K本体



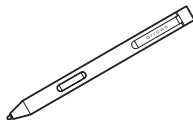
■ クイックスタートガイド ご利用にあたっての注意事項



■ 卓上スタンド（試供品）



■ arrowsスマートスタイラスペン（試供品） （取扱説明書付き）



- 本端末に対応するオプション品（別売品）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
<https://www.mydocomo.com/onlineshop/options/index.html>

目次

■本体付属品	1
■本端末のご利用について	5
■安全上のご注意（必ずお守りください）	6
■取り扱い上のご注意	16
■防水／防塵、耐衝撃性能	22

ご使用前の確認と設定 29

各部の名称と機能	29
ドコモnanoUIMカード	31
microSDカード	33
充電	34
電源を入れる／切る	36
基本操作	37
文字入力	40
初期設定	47
お知らせLED	48
画面表示／アイコン	48
タスク管理	54
分割画面	55
ホームアプリの切り替えかた	56

docomo LIVE UX 57

ホーム画面	57
アプリ一覧画面	59
ホーム画面のバックアップと復元	64
マイマガジン	64
ホームアプリの情報	65

電話帳 66

電話帳の使いかた	66
----------------	----

メール／ウェブブラウザ 70

ドコモメール	70
メッセージ（SMS）	70
NX!メール	72
Gmail	76
緊急速報「エリアメール」	76
Chrome	78
かんたんインターネット	81

アプリ 84

dメニュー	84
dマーケット	84
Playストア	84
トルカ	86
テレビ（フルセグ／ワンセグ）	86
カメラ	93
アルバム-Scene	100
位置情報・GPS	101
時計	103
スケジュール	104
電卓	105
検索	105
ドコモデータコピー	106

本体設定	109
設定メニュー	109
Wi-Fi	110
データ使用量	115
機内モード	115
テザリング	116
VPN (仮想プライベートネットワーク)	117
モバイルネットワーク	118
ネットワーク設定のリセット	119
壁紙・画面	120
通知	121
音	122
アプリ	125
ストレージ	126
電池	126
メモリ	127
ユーザー	127
動作	128
ドコモのサービス/クラウド	128
セキュリティ	129
アカウント	138
Google	139
言語と入力	139
バックアップとリセット	141
便利機能	142
日付と時刻	143
ユーザー補助	143
タブレット情報	144

ファイル管理	145
本体 (内部ストレージ)	145
microSDカード (外部ストレージ)	145
ファイル操作	146

データ通信	147
Bluetooth®通信	147
NFC通信	150

外部機器接続	152
パソコンとの接続	152
プリンタとの接続	152
DLNA対応機器との接続	154
その他の機器との接続	156

海外利用	158
国際ローミング (WORLD WING) の概要	158
海外で利用可能なサービス	158
海外でご利用になる前に	158
帰国後の確認	160

付録／索引 161

トラブルシューティング (FAQ)	161
あんしん遠隔サポート	166
保証とアフターサービス	167
ソフトウェアアップデート	169
主な仕様	173
データ通信端末の比吸収率 (SAR)	176
Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Terminals	177
輸出管理規制	182
知的財産権	182
SIMロック解除	185
索引	186

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用にならない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末はユーザーやゲストが利用できる機能に対応しているため、ユーザーを切り替えた際にサービスやアプリによっては同一のお客様として取り扱われる場合があります。
本機能の利用により発生したお客様、または第三者の損害やトラブルに関して、当社としては責任を負いかねます。→P127
- お客様が自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上でご利用ください。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用になります。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモnanoUIMカードにお取り替えください。
- 本端末は、音声通話には対応しておりません。
- 本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P169
- 端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。

- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードや本体メモリの空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Google Inc. が提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Google™および各提供元が定める各利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社では一切責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面に従って操作してください。
- 万が一本端末を紛失した場合は、Gmail™、Google PlayなどのGoogleサービスや、SNSなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- 紛失に備えセキュリティ解除方法を設定し、本端末のセキュリティを確保してください。→P129
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、パケットバック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※ ¹ ）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※ ¹ ）を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※ ² ）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※ ³ ）の発生が想定される」内容です。

- ※¹ 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※² 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※³ 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	禁止 (してはいけないこと) を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制 (必ず実行していただくこと) を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

本端末、アダプタ、ドコモnanoUIMカードの取り扱い (共通)	7
本端末の取り扱い	9
アダプタの取り扱い	12
ドコモnanoUIMカードの取り扱い	14
医用電気機器近くでの取り扱い	14
材質一覧	15

◆ 本端末、アダプタ、ドコモnanoUIMカードの取り扱い (共通)

⚠ 危険



高温になる場所や熱のこもりやすい場所 (火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など) で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P22「防水/防塵、耐衝撃性能」



水などの液体 (飲料水、汗、海水、ペットの尿など) で濡れた状態では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P22「防水/防塵、耐衝撃性能」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特にバッグなどに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ ご注意いただきたい例

- バッグなどに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→P22「防水／防塵、耐衝撃性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

→P22「防水／防塵、耐衝撃性能」



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

• 電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。

• 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P22「防水／防塵、耐衝撃性能」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

アプリ、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

◆ 本端末の取り扱い

⚠ 危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のドコモnanoUIMカード／microSDカードスロットに水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

大きな音で通知音が鳴っているときや、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

待ち受け中であっても、突然の通知音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、バイブレータ（振動）や通知音量の設定に注意してください。

突然のバイブレータ（振動）や通知音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



禁止

アンテナなどを持って本端末を振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。
→P15「材質一覧」



指示

本端末のスピーカー部、パイプレータ部、カメラ部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。



指示

テレビ視聴時以外ではTVアンテナを収納してください。

TVアンテナを引き出したままでカメラなどを利用すると、本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。

◆アダプタの取り扱い

警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに海外旅行用の変圧器（トラベルコンバーター）を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用するとう火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース専用）



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、アダプタの電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



水などの液体（飲料水、汗、海水、ベットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



コンセントやアクセサリースOCKETにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。

やけどなどの原因となります。

◆ ドコモnanoUIMカードの取り扱い

⚠️ 注意



ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

◆ 医用電気機器近くでの取り扱い

⚠️ 警告



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆材質一覧

■ F-02K 本体

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／AFコーティング
外装ケース	ケース	PA樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	リアパネル	エポキシ樹脂／ウレタン系2液硬化塗装処理
	grip edge（側面2か所）	エラストマー樹脂／なし
TVアンテナ	先端部	PC+ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	パイプ部	ステンレス鋼／なし
	根元屈曲部	ニッケルチタン合金／なし
	根元回転部（上側、下側）	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
	ネジ	ステンレス鋼／なし
カメラパネル		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
電源キー、音量キー		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理

使用箇所		材質／表面処理
ドコモ nanoUIM カード／microSD カードトレイ	トレイキャップ部	PC樹脂＋エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	ゴムパッキン	シリコン樹脂
	トレイピン、ピンカバー	ステンレス鋼／なし
	トレイ部	アルミ／アルマイト処理
ステレオイヤホン端子		PA樹脂／なし
IMEIシート（シート、バーコード）		PET／なし
USB Type-C接続端子		PA樹脂／なし

取り扱い上のご注意

◆ 共通のお願い

- F-02Kは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。
 - アダプタ、ドコモnanoUIMカードは防水／防塵性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
 - 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子などは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
 - 端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用できない場合があります。また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
 - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本端末に無理な力がかからないように使用してください。
 - 多くのものが詰まった荷物の中に入れるとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
 - 指定のオプション品以外を使用した場合、故障、破損の原因となります。
- 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 故障、破損の原因となります。

◆ 本端末についてのお願い

- ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。
 - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
 - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご利用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
- 万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
- 故障、破損の原因となります。
- 使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイを閉じた状態でご使用ください。
- 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
- データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。
- キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤作動の原因となります。

- 本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。
- 近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
- 近接センサーの位置は、以下をご参照ください。
→P29「各部の名称と機能」
- 内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。
- 内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。
十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管
なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表 示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

◆ アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
 - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
 - 故障の原因となります。

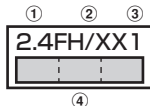
◆ ドコモnanoUIMカードについてのお願い

- ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモnanoUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
 - IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用できない場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- お客様ご自身で、ドコモnanoUIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
 - 万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモnanoUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
 - データの消失、故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
 - 故障の原因となります。
- ドコモnanoUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
 - 故障の原因となります。

◆ Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH/XX：変調方式がFH-SS方式およびその他の方式（DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外）であることを示します。
- ③ 1：想定される干渉距離が10m以下であることを示します。
- ④ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

ご利用の国によってはBluetooth機能の利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN (WLAN) についてお願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。

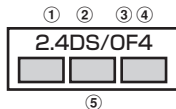
●無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

●周波数帯について

本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の利用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

ドコモnanoUIMカードが挿入されていない場合や挿入されていても圏外の場合には、国内外に関わらず2.4GHz帯の12、13チャンネルおよび5GHz帯の120～128チャンネルは使用できません。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

本端末に内蔵の無線LANを5.2/5.3GHzでご利用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

本端末が日本で使用できる周波数とチャンネル番号は次のとおりです。

- 5.2GHz帯：5180～5240MHz（36、38、40、42、44、46、48Ch）
- 5.3GHz帯：5260～5320MHz（52、54、56、58、60、62、64Ch）
- 5.6GHz帯：5500～5700MHz（100、102、104、106、108、110、112、116、118、120、122、124、126、128、132、134、136、140Ch）

◆NFCリーダー／ライターについて

- 本端末のNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。
また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。
ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。
その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

◆ 注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面で  → [設定] → [システム] → [タブレット情報] → [認証]

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- 本端末のNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。
- データ通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。

防水／防塵、耐衝撃性能

F-02Kは、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイをしっかりと閉じた状態で、IPX5^{*1}、IPX8^{*2}の防水性能、IP6X^{*3}の防塵性能を有しています。また、MIL規格に準拠する試験^{*4}をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信端末としての機能を有することを意味します。
- ※2 F-02KにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-02Kを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信端末としての機能を有することを意味します（水中においてカメラ機能は使用できません）。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に通信端末を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに通信端末の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
- ※4 アメリカ国防総省が制定したMIL-STD-810G w/ Change1 Method 516.7-Shockに準拠した独自の落下試験を実施しています。

落下	高さ約1.22mから26方向で合板（ラワン材）に落下させる試験
浸漬	30分間にわたる水深1.5mでの浸漬試験
防塵	連続6時間（粉塵10±7g/m ³ 、風速8.9m/s）の粉塵試験

塩水噴霧	連続96時間（濃度5%の塩水を噴霧24時間、乾燥24時間を2サイクル）の塩水耐久試験
湿度	連続10日間（湿度95%、30～60℃）の高湿度試験
太陽光照射	連続24時間（合計1,120W/m ² ）の日射試験
振動	3時間（3方向各1時間）の振動試験
風雨	30分間にわたる18m/sの降雨試験
高温動作（60℃固定）	動作環境：60℃の高温試験
高温保管（70℃固定）	保管環境：70℃の高温試験
低温動作（-20℃固定）	動作環境：-20℃の低温試験
低温保管（-30℃固定）	保管環境：-30℃の低温試験
低圧保管	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験
低圧動作	連続1時間（57.11kPa/約4,572m）の低圧試験

米国防総省の調達基準（MIL-STD-810G）の14項目、落下、浸漬、粉塵、塩水噴霧、湿度、太陽光照射、振動、風雨、高温動作（60℃固定）、高温保管（70℃固定）、低温動作（-20℃固定）、低温保管（-30℃固定）、低圧保管、低圧動作に準拠した試験を実施しています。本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損・無故障を保証するものではありません。

❖ F-02Kが有する防水性能でできること

- 1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通信やテレビの視聴ができます。
 - 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイの開閉はしないでください。
- 常温の水道水で手洗いをすることができます。
 - ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
 - 規定（→P22）以上の強い水流を直接当てないでください。
 - ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
 - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
 - 洗った後は所定の方法（→P26）で水抜きしてください。
- 風呂場で使用できます。
 - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P26）で水抜きしてください。
 - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
 - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
 - 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。

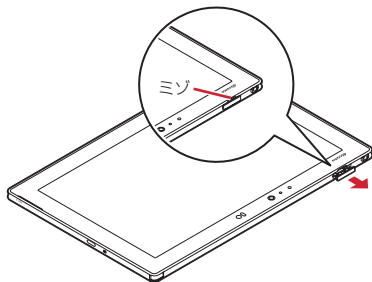
- 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

◆ 防水／防塵性能を維持するために

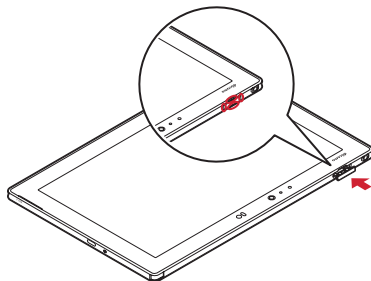
水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- ドコモnanoUIMカードやmicroSDカードの取り付け／取り外し時には、ミゾに指先をかけてトレイキャップを開け、トレイを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出します。

※トレイキャップを開けた後、トレイキャップを下に強く押さないでください。トレイキャップの破損の原因となります。



- 使用後はトレイを矢印の方向にまっすぐ水平に差し込み、○部分をしっかり押します。本端末とトレイキャップの間にすき間がないことを確認してください。



- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。
- ステレオイヤホン端子、USB Type-C接続端子、マイク、スピーカー、ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイなどを尖ったものでつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- トレイキャップのゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉



石鹸／洗剤／入浴剤
をつける



ブラシ／スポンジ
で洗う



洗濯機で洗う



強すぎる水流を
当てる



海水につける



温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。本端末のUSB Type-C接続端子にACアダプタを接続している状態では、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→P22）以上の強い水流を直接当てないでください。F-02KはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかけたり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。

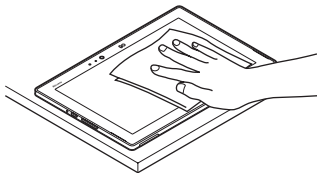
- プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、USB Type-C接続端子、マイク、スピーカーに水滴を残さないでください。動作不良となるおそれがあります。
- USB Type-C接続端子に蛇口の水を直接当てないでください。
- ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- トレイキャップのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

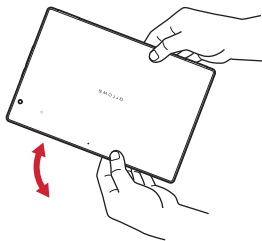
◆ 水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

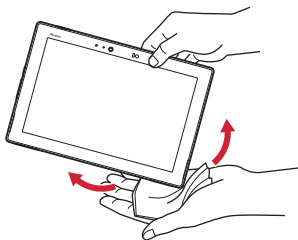
- ① 本端末を安定した台などに置き、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



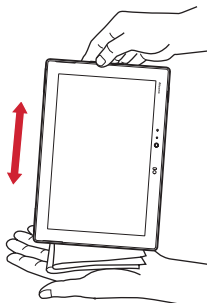
- ② 本端末のディスプレイ面を下にして、長い辺を両手でしっかりと持ち、10回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。その後、180度持ち替えて同様に10回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



- ③ 外周部のすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末の四隅を各10回程度振るように押し当てて拭き取ってください。



- ④ ステレオイヤホン端子、USB Type-C接続端子、マイク、スピーカー、キー、TVアンテナなどのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて確実に拭き取ってください。



- ⑤ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
 - すき間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

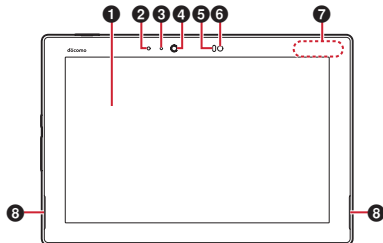
◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから充電してください。
- USB Type-C接続端子に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。
- ACアダプタは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



正面

① ディスプレイ（タッチパネル）

② インカメラ→P93

③ お知らせLED→P48

④ 虹彩認証用カメラ→P133

虹彩登録時や虹彩認証操作時に使用します。

⑤ 近接センサー／RGBセンサー※¹

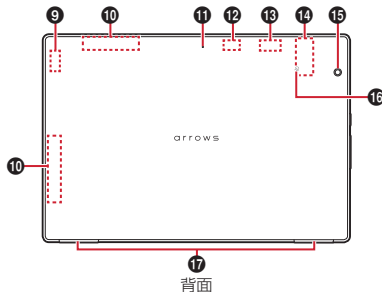
近接センサーは虹彩認証操作時に端末と目の距離を計測します。RGBセンサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイのバックライトの明るさを自動調節します。

⑥ 虹彩認証用LED→P133

虹彩登録時や虹彩認証操作時に使用します。

⑦ 近接センサー→P120
なぞってONで使います。

⑧ スピーカー



背面

⑨ GPSアンテナ部※²

⑩ LTE／FOMAアンテナ部※²

⑪ マイク※³

⑫ Wi-Fiアンテナ部※²

⑬ Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部※²

⑭ 銘板プレート→P168

⑮ アウトカメラ→P93

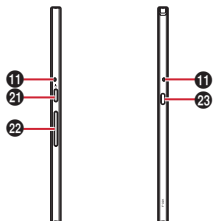
⑯ 〻マーク→P150

⑰ grip edge

本端末を立てかけて使用する際、すべり止めとして使います。



上部



左側

右側

- ⑮ ステレオイヤホン端子（防水）
- ⑯ ドコモnanoUIMカード／microSDカードトレイ※4
- ⑰ TVアンテナ※5→P87
テレビ視聴時に伸ばします。
- ⑱ 電源キー 
電源操作のほか、スリープモードの設定／解除を行います。
- ㉒ 音量キー
- ㉓ USB Type-C接続端子（防水）
充電時やパソコンなどの接続時に使用します。
USB Power Deliveryに対応しています。
- ※1 センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、誤動作したり正しく検知されない場合があります。

- ※2 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。
- ※3 マイク部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、正しく音声認識されない場合があります。
- ※4 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、水や粉塵の侵入を防ぐために、しっかりと閉じてください。
- ※5 TVアンテナを伸ばした状態でも防水／防塵性能を有しています。

■ ご注意

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

ドコモnanoUIMカード

ドコモnanoUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

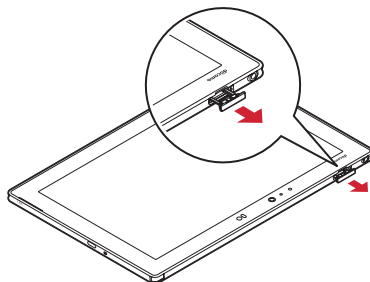
- 本端末ではドコモnanoUIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモnanoUIMカードにお取り替えください。
- ドコモnanoUIMカードが本端末に取り付けられていないと、パケット通信などの機能を利用することができません。
- ドコモnanoUIMカードの取り扱いについての詳細は、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページをご覧ください。

◆ ドコモnanoUIMカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- ドコモnanoUIMカードの取り付けには、必ずトレイを使用してください。ドコモnanoUIMカードを単体で取り付けると、故障の原因となります。

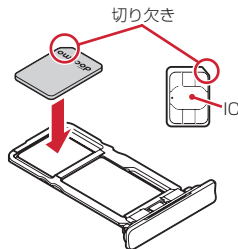
■ 取り付けかた

- ① ミゾに指先をかけてトレイキャップを開ける→P24
- ② トレイを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出す
 - トレイは本体から外れる構造になっています。

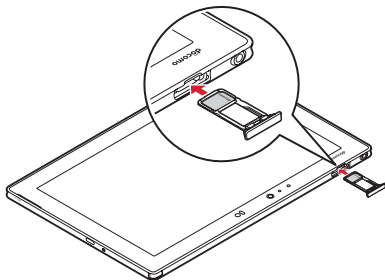


③ ドコモnanoUIMカードのIC面を下にしてトレイにはめ込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- トレイからドコモnanoUIMカードが浮かないようにはめ込んでください。



- ④ 本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、矢印の方向にトレイをスロットへまっすぐ水平に差し込む



- ⑤ トレイキャップをしっかりと押して閉じる→P24

■ 取り外しかた

- ① 本端末のディスプレイ側を上に向け、ミゾに指先をかけてトレイキャップを開ける→P24
- ② トレイを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出す→P31
- ③ ドコモnanoUIMカードをトレイから取り外す
- ④ 本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、トレイをスロットへまっすぐ水平に差し込む→P32
- ⑤ トレイキャップをしっかりと押して閉じる→P24

✓お知らせ

- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモnanoUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモnanoUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- トレイをスロットに抜き差しする際は、無理に引き出したり差し込んだりしないでください。トレイが破損するおそれがあります。

◆ ドコモnanoUIMカードの暗証番号

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P137

microSDカード

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりできます。

◆ microSDカードについて

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカード、256GBまでのmicroSDXCカードまたはmicroSDXC UHS-Iカードに対応しています（2017年11月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。

✓お知らせ

- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することがあるため、差し込まないでください。データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化（データはすべて削除されます）する必要があります。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先（元）機器の規格に準拠したmicroSDHCカードまたはmicroSDカードをご利用ください。

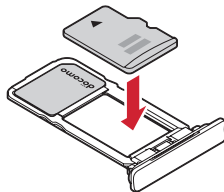
- 動画撮影など大容量のデータを扱うアプリを利用する場合は、高速のmicroSDカードをご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、最大クラス10まで使用できます。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス3まで使用できます。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- microSDカードの取り付けには、必ずトレイを使用してください。microSDカードを単体で取り付けると、故障の原因となります。

■ 取り付けかた

- ① 本端末のディスプレイ側を上に向け、ミゾに指先をかけてトレイキャップを開ける→P24
- ② トレイを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出す→P31
- ③ microSDカードの金属端子面を下にしてトレイにはめ込む
 - トレイからmicroSDカードが浮かないようにはめ込んでください。



- ④ 本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、トレイをスロットへまっすぐ水平に差し込む→P32
 - ⑤ 本端末のトレイキャップをしっかりと押して閉じる→P24
- 取り外しかた
- ① 本端末のディスプレイ側を上に向け、ミゾに指先をかけてトレイキャップを開ける→P24
 - ② トレイを矢印の方向にまっすぐ水平に引き出す→P31
 - ③ microSDカードをトレイから取り外す
 - ④ 本端末のディスプレイ側が上に向いていることを確認して、トレイをスロットへまっすぐ水平に差し込む→P32
 - ⑤ トレイキャップをしっかりと押して閉じる→P24

充電

❖ 充電時のご注意

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがあります。充電を完了したい場合は、アプリを終了してから充電することをおすすめします。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温くなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。

- 内蔵電池または端末の温度が充電可能な範囲外になった場合は充電エラーになり、お知らせLEDが点滅または消灯します。温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになり、お知らせLEDが消灯します。充電器から本端末を取り外して、充電し直してください。
- 内蔵電池の電圧に異常があると充電エラーになり、お知らせLEDが点滅します。アプリを使用中の場合は、直ちに終了してください。充電器から本端末を取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、充電器から本端末を取り外して、一度電源を切ってから、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 充電時間については「主な仕様」をご覧ください。→P173

❖ 内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら通信、その他機能の操作などを長時間行くと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 「タブレット情報」から内蔵電池の性能（充電能力）を確認することができます。→P144

- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。



Li-ion 00

◆ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタ 06（別売品）：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用している充電は行わないでください。

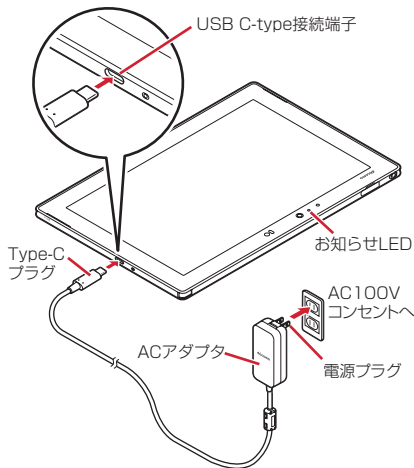
DCアダプタ 05（別売品）：自動車の中で充電する場合に使用します。ご利用には、別途USBケーブル A to C 01（別売品）が必要となります。

◆ACアダプタを使って充電

ACアダプタ 06（別売品）を使って充電する場合は次の操作を行います。

- ① ACアダプタのType-CプラグをUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
- ② ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む
 - 充電中は本端末のお知らせLEDが赤色に点灯し、充電が完了すると消灯します。

- ③ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
- ④ 本端末のUSB Type-C接続端子からACアダプタのType-Cプラグを水平に抜く



◆ パソコンを使って充電

USBケーブル A to C 01（別売品）などを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、[キャンセル] を選択してください。

電源を入れる／切る

◆ 電源を入れる

- 電源を入れる前に、本端末とトレイキャップの間にすき間がないことを確認してください。

1 お知らせLEDが緑色に点灯するまで を押し続ける(2秒以上)

本端末が振動した後、起動画面に続いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

- 初めて電源を入れたときは初期設定を行います。→ P47

2 画面ロックを解除

- 画面ロックの解除方法については「画面ロックの解除」をご覧ください。→ P52

◆ 電源を切る

1 タブレットオプションメニューが表示されるまで を押し続ける

タブレットオプションメニューでは次の項目が表示されます。

- 電源を切る→P36
- 再起動
- 機内モード→P115
- マナーモード→P123

2 [電源を切る]→[OK]

本端末が振動して電源が切れます。

基本操作

◆ タッチパネルの使いかた

本端末は、タッチパネルに直接指を触れて操作します。
付属のarrowsスマートスタイラスペン（試供品）を使用して操作することもできます。→P38

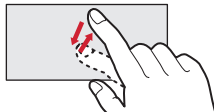
❖ タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。
指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼っての操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
 - 水中での操作

❖ タップ／ダブルタップ

タップ：画面に軽く触れてからすぐに離します。
ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。



例：タップ

❖ ロングタッチ

画面に長く触れます。画面に指を触れたまま次の操作を行う場合もあります。

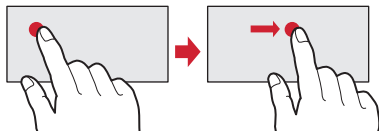
❖ ドラッグ／スライド（スワイプ）／パン

ドラッグ：画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。

スライド（スワイプ）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。

- アプリによっては、数本の指を画面に触れたまま上下に動かしたり回転させたりして操作できます。

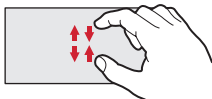
パン：Webページなどで一画面では表示しきれないときに、画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。



例：ドラッグ

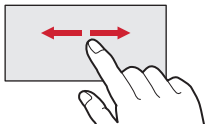
❖ ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。



❖ フリック

画面に触れた指をすばやく払います。



❖ arrowsスマートスタイラスペンの使いかた

arrowsスマートスタイラスペン（試供品）のペン先でタッチパネルに触れて操作します。Bluetoothやアプリとのペアリングなどの設定は不要で、すぐに使うことができます。

- 操作方法や使用上のご注意などの詳細については、arrowsスマートスタイラスペンの取扱説明書をご覧ください。

❖ スタイラスペン利用上のご注意

- ペン先を強く押し付けしないでください。
- タッチパネルがペンを検出しているときは指での操作はできません。指で操作するときは、ペンをタッチパネルから離してください。

❖ ジェスチャー操作の使いかた

本端末のインカメラに向かってジェスチャー動作をすることで、画面に触れずに音楽の再生／一時停止などを操作することができます。

❖ ジェスチャー操作設定

ジェスチャー操作を利用するには、ジェスチャー操作設定をONに設定しておく必要があります。

- 1 ホーム画面で 田 →[設定]→[システム]
- 2 [ユーザー補助]→[ジェスチャー操作設定]→[OFF]→[OK]

❖ アプリ設定

ジェスチャー操作を利用する対象アプリをONに設定します。

- 1 ホーム画面で[ジェスチャー操作設定]
対象のアプリが一覧で表示されます。
 - 初回起動時はジェスチャー操作の説明画面が表示されます。内容を確認して[使ってみる]をタップすると、対象のアプリが一覧で表示されます。

2 対象アプリの右上のボタンをタップしてONにする

- [すべてOFF] / [すべてON] をタップすると、対象アプリのON/OFFを一括で設定できます。

✓お知らせ

- ジェスチャー操作中に「ジェスチャー操作設定」アプリを終了すると、ジェスチャー操作を利用できなくなります。

◆ジェスチャー操作方法

- ジェスチャー操作は、対応アプリでのみ動作します。ジェスチャーが利用できるアプリを起動すると、ステータスバーにが表示されます。
- 次の操作が利用できます。

スクロール／ボリューム

インカメラに向かって手のひらを開いて、ゆっくり上下に動かすと画面のスクロールや音量の調節などができます。

スワイプ

インカメラに向かって手のひらを開いて、左右に動かすと音楽や動画の再生／一時停止時に前後のデータに移動したり、テレビのチャンネルを変更したりできます。

グラブ（握る）

インカメラに向かって手のひらを開いて、拳を握る（グラブ）動作をすると、音楽や動画などの再生／一時停止の操作ができます。

ミュート

インカメラに向かって人差し指を立て、口もとに運ぶ動作をすると、音声を消音にします。

✓お知らせ

- ジェスチャー操作については、ホーム画面で「ジェスチャー操作設定」→「ジェスチャー LESSON」をタップして、使いかたをご覧ください。

◆縦／横画面表示の切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます（画面の自動回転→P120）。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

◆スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 と音量キーの下を同時に押す（1秒以上）

スクリーンショットが保存され、ステータスバーにが表示されます。

- ステータスバーを下方方向にフリックして通知パネルを開き（→P50）、スクリーンショットの通知をタップ→アプリを選択、またはホーム画面で→[アルバム-Scene] をタップすると、画像を確認できます。

◆ アプリの権限

本端末の機能や情報にアクセスするアプリや機能を初めて起動すると、アクセス権限を許可するかの確認画面が表示されます。アクセス権限を許可すると、アプリや機能で該当する機能や情報を利用できるようになります。

- アプリや機能によって表示される確認画面が異なります。表示内容をよくご確認の上、操作してください。

〈例〉「アルバム-Scene」アプリを初めて起動する場合

- 1 ホーム画面で  → [アルバム-Scene]
確認画面が表示されます。

- 2 [許可しない] / [許可]

以降は画面の指示に従って操作してください。

✓お知らせ

- アクセス権限を許可しないとアプリや機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- 権限の設定を変更するには、ホーム画面で  → [設定] → [画面・音・アプリ] → [アプリ] → アプリを選択 → [権限] → 変更する権限をON/OFFにします。

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ここでは、主にSuper ATOK ULTIASでの入力方法について説明します。
- 他の入力方法に切り替えることもできます。→P43
- 外付けキーボードを接続して入力ができます。→P46

◆ キーボードの使いかた

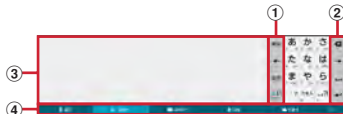
テンキーキーボード、QWERTYキーボード、50音キーボード、手書き入力で文字を入力できます。

- 各キーボードから、音声入力を起動できます。→P42
- 上書き手書き入力が有効に設定されているときは、テンキーキーボードやQWERTYキーボード、50音キーボードの上から手書き入力ができます。→P44

■ テンキーキーボード

1つのキーに複数の文字が割り当てられています。

- フリック入力、ケータイ入力、ジェスチャー入力、2タッチ入力から入力方式を選択できます。→P43



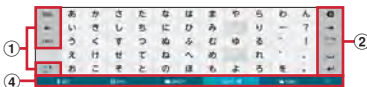
■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。



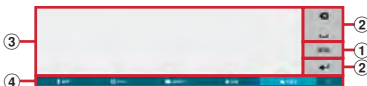
■ 50音キーボード

50音順、アルファベット順で入力します。



■ 手書き入力

手書きで文字を入力します。



・設定や状況により、表示が変わるキーがあります。

① : メニューの表示

・メニューを表示すると、次の操作ができます。

定型文 : 定型文の表示

引用アプリ : 電話帳の引用、パーソナルノートの引用

テーマ切替 : キーボードのデザインを変更

設定 : Super ATOK ULTIASの設定→P44

パーソナルノート : パーソナルノートの引用

郵便番号 : 郵便番号を入力→[変換] をタップすることで郵便番号に対応した住所を入力

記号／顔文字／絵文字 : 記号／顔文字／絵文字／絵文字一覧の表示

上書き手書き : 上書き手書き入力の有効／無効

サイズ調整バー : キーボードサイズを調整するバーの表示

: キーに割り当てられた文字を逆順に表示

: カーソルを左に移動

・テンキーキーボード／50音キーボードでは、上下にフリックするとカーソルを上下に移動、右にフリックするとカーソルを右に移動します。

/ : カーソルを上下に移動

: 記号一覧の表示

/ : かな／英字／数字入力モードの切り替え

: 大文字固定に設定／解除

: QWERTYキーボードの英字入力時にロングタッチしている間のみ大文字に切り替え

/ / : 50音キーボードの英字入力時に最初の1文字のみ大文字／大文字／小文字の切り替え

: かな・英字／記号入力モードの切り替え

: ひらがな／カタカナの切り替え

② : カーソルの左側の文字を削除 (Backspace)

・文字確定後にキーを上フリックするとカーソルの右側の文字を削除、左フリックするとカーソルの左側の文字を全削除します。

・キーを下フリックすると、文字確定後に削除した文字を元に戻します。

: カーソルを右に移動

・テンキーキーボード／50音キーボードでは、上下にフリックするとカーソルを上下に移動、左にフリックするとカーソルを左に移動します。

空白の入力

- 上にフリックすると、全角入力時は半角の空白、半角入力時は全角の空白を入力します。

文字の変換

次の入力欄へカーソル移動

確定または改行

小文字・濁点・半濁点／大文字の切り替え

全角／半角の切り替え

③ 手書き入力領域：指で文字を書いて入力

- 文字を入力すると、入力領域の上部に認識された文字が表示されます。認識された文字をタップして表示される補正候補一覧から文字を選択できます。
- QWERTYキーボード表示中に「分割」をタップして左右にキーボードを分割したときは、中央に手書き入力領域が表示されます。

④ 音声入力の起動

テンキーキーボードの表示

- テンキーキーボード表示中は、「互換性」／「縦画面」の場合は「全角」をタップするとキーボードの位置を切り替えられます。

QWERTYキーボードの表示

- QWERTYキーボード表示中は、「分割」／「全角」をタップすると分割キーボードと通常キーボードを切り替えられます。

50音キーボードの表示

- 50音キーボード表示中は、「右向き」／「左向き」をタップするとキーボード（50音順）の右向きと左向きを切り替えられます。

手書き入力の表示

入力した単語をユーザー辞書に登録

- 変換候補にない単語を入力して確定すると選択できます。

✓お知らせ

- キーボードを非表示にするには、をタップします。再度キーボードを表示するには、文字入力欄をタップします。
- パスワードなどの入力画面では、入力画面とパーソナルノートに登録したID（アカウント）やパスワードなどを関連付けし、引用入力することができます。キーボード上部に表示された「[パーソナルノートへの登録]」をタップし、パーソナルノートに認証情報を登録して入力画面と関連付けします。引用入力する場合は、「[パーソナルノートからの引用]」をタップします。
 - ブラウザでは、関連付けされた画面情報をもとに、ID、パスワードが自動で引用入力されます。ただし、ID、パスワードの画面構成によっては、自動で引用入力されない場合もあります。
 - その他のアプリでは、関連付けされた画面情報をもとに、一覧画面から選択した項目が引用入力されます。

❖ テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の4つの入力方式を利用できます。

- [テンキー] で入力方式を選択して利用します。→P44
- 上書き手書き入力を有効にしている場合、入力方式を変更できません。

■ フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、フリックした後  を1回または2回タップします。

■ ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、タップした後  を1回または2回タップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音／促音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。



例：「は」を入力する場合

- 英字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字の切り替えができます。

■ 2タッチ入力

1回目に入力したい文字が割り当てられているキーをタップし、2回目に目的の文字をタップします。

◆ 入力方法の切り替え

他の入力方法に切り替えて入力できます。

1 ホーム画面で  → [設定] → [言語と入力]

2 [現在のキーボード] → 入力方法を選択

- キーボードの変更画面に表示するキーボードは、「文字入力の設定」(→P44) の [キーボードを管理] で設定できます。

✓お知らせ

- ATOKの日本語キーボードに戻すには、入力方法の一覧で [日本語 Super ATOK ULTIAS] を選択します。
- 文字入力中に入力方法を切り替えるには、ナビゲーションバー (→P48) の  をタップして、入力方法を選択します。

◆ 文字入力の設定

入力方法ごとに各種設定ができます。

1 ホーム画面で ⌂ →[設定]→[言語と入力]

2 [仮想キーボード]

仮想キーボード一覧画面が表示されます。

3 [Super ATOK ULTIAS]／[ドコモ文字編集]／[Google音声入力]

- ・[キーボードを管理] をタップすると、「現在のキーボード」「仮想キーボード」の一覧画面に表示するキーボードを設定できます。

4 各項目を設定

- ・設定できる項目は、入力方法により異なります。

❖ Super ATOK ULTIASの設定

各キーボードの入力中の動作やデザインなどについて設定します。また、単語の登録（ユーザー辞書）や定型文の編集、設定の初期化などもできます。

1 ホーム画面で ⌂ →[設定]→[言語と入力]→[仮想キーボード]→[Super ATOK ULTIAS]

2 各項目を設定

操作音・パイプ：キー操作音、キー操作パイプを設定します。

テンキー：入力方式（フリック入力／ケータイ入力／ジェスチャー入力／2タッチ入力）、フリック入力（フリックガイド、フリック感度、「や」キーフリック、修飾キーフリック、英字キーフリック）、ケータイ入力の有効化、自動カーソル移動（自動カーソル移動、自動カーソル移動の速度）、ジェスチャー入力（ジェスチャーガイド、ジェスチャー感度、タッチ位置を中心に表示、高速表示、高速で閉じる、ジェスチャーガイドの表示時間、「や」キージェスチャー）、使用するテンキー（ひらがな＋英字＋数字／ひらがな＋英字／ひらがな＋数字）、数字は確定入力を設定します。

QWERTYキーボード：英字は確定入力、数字キー表示（縦画面、横画面）を設定します。

手書き入力：上書き手書き入力（テンキー、QWERTYキーボード、50音キーボード）、枠のサイズ、確定速度（自動確定ON、確定速度）、線の表示（太さ、色）を設定します。

共通設定：推測変換、未入力時の推測候補表示、学習機能、スペースは半角で出力、自動スペース入力、文字削除キー、機能フリックガイド、バックキー、自動全画面化（横画面）、ハードキーボードを優先、マルチタッチを設定します。

- ・アプリによっては、文字入力時に推測変換候補が表示されません。
- ・[自動全画面化（横画面）] を有効に設定しても、アプリによっては全画面表示にならないものがあります。

変換候補一覧の表示：文字サイズ、候補の表示行数（縦画面、横画面）、表現モード、句読点の表現、推測訂正候補の表示、校正支援の表示を設定します。

デザイン：テーマ、キーボードのサイズ調整（テンキー（縦画面／横画面）、QWERTY（縦画面／横画面）、50音キーボード（縦画面／横画面）、手書き（縦画面／横画面））を設定します。

ユーティリティ：ユーザー辞書の登録／編集、定型文の登録／編集、ATOK Sync（有効にする、共有した単語の確認、今すぐ更新、自動更新、更新間隔、Wi-Fi接続時のみ実行）、ATOKキーワードExpress（有効にする、ジャンルの選択、更新を通知、今すぐ受信、自動受信、受信間隔、Wi-Fi接続時のみ受信）、設定のエクスポート／インポート（設定のエクスポート、設定のインポート）、一括エクスポート／インポート（一括エクスポート／一括インポート）を設定します。

初期化：設定の初期化、学習データの初期化を行います。

- ・[設定の初期化] を実行しても学習データや編集したユーザー辞書／定型文は削除されません。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

Super ATOK ULTIAS：Super ATOK ULTIASのバージョンを確認します。

◆ テキスト編集

文字入力欄、Webサイト、受信メールなどのテキストコピー、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。

- ・アプリの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖ テキストのコピー／切り取り

■ 文字入力欄でのコピー／切り取り

1 テキストをロングタッチ

選択された語句がハイライト表示されます。

- ・テキスト範囲の両端にあるつまみをドラッグすると選択範囲を調節できます。
- ・すべてを選択するには、[すべて選択] をタップします。
- ・選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。

2 [コピー]／[切り取り]

■ Webサイトなどでコピー

1 テキストをロングタッチ

テキスト範囲がハイライト表示されます。

- ・テキスト範囲の両端にあるつまみをドラッグすると選択範囲を調節できます。
- ・すべてを選択するには [すべて選択] をタップします。
- ・選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。
- ・Webサイトによっては、リンクをロングタッチして表示されるメニューから [リンク テキストをコピー] をタップなどの操作ができます。

2 [コピー]

✓お知らせ

- ・テキストをロングタッチし、[共有] をタップすると、選択したテキストをアプリで送信できます。

◆テキストの貼り付け

- 1 貼り付け位置をロングタッチ[貼り付け]
カーソル位置にテキストが貼り付けられます。

◆外付けキーボードの利用

本端末とBluetoothキーボード（HID／SPP）やUSBキーボードを接続して文字入力ができます。

- 101キーボード、104キーボード、106キーボード、OADG 109キーボード、OADG 109Aキーボードに対応しています。
- Bluetoothキーボードの接続方法については、「Bluetooth機器との接続」をご覧ください。→P148
- USBキーボードを利用する場合は、USBキーボードを本端末のUSB Type-C接続端子に接続します。

◆外付けキーボードの設定

- 外付けキーボードが接続されていると、キーボードが表示されます。

- 1 ホーム画面で ⌘ →[設定]→[言語と入力]
- 2 [物理キーボード]→任意のキーボードを選択→任意のキーボードレイアウトを選択

◆仮想キーボードの表示

外付けキーボードが接続されているときにソフトウェアキーボードを表示するかを設定できます。

- 1 ホーム画面で ⌘ →[設定]→[言語と入力]
- 2 [物理キーボード]→[仮想キーボードの表示]をタップしてON／OFFを設定

◆キーボードのショートカット表示

接続した外付けキーボードで利用できるショートカットを表示します。

- 1 ホーム画面で ⌘ →[設定]→[言語と入力]
- 2 [物理キーボード]→[キーボード ショートカット ヘルパー]

初期設定

本端末の電源を初めて入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います。

- Googleアカウントの設定により表示される項目が異なる場合があります。

1 [日本語(日本)]を選択して[試してみる]

- 以降は画面の指示に従って以下の設定などを行ってください。
 - セットアップ方法の選択
 - Wi-Fi
 - Googleアカウント
 - タブレットの保護
 - Google サービス

2 ドコモサービスの初期設定画面で[すべてのリンク先の内容に同意する]→[次へ]

3 各項目を設定→[進む]

dアカウント：ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。

ドコモクラウド：ドコモクラウドに対応した各種サービスのクラウド設定を行います。

アプリ一括インストール：契約中のドコモサービスに必要なアプリを一括でインストールすることができます。

4 その他の設定項目画面で各項目を設定→[設定を完了]

ホーム画面が表示されます。

✓お知らせ

- ホーム画面の使い方が表示された場合は、内容をご確認の上、[次へ] → [次へ] → [以後表示しない] / [OK] をタップします。
- 端末エラー情報送信の確認画面が表示された場合は [OK] をタップします。
- ソフトウェアアップデートの確認画面が表示された場合は [OK] をタップします。

お知らせLED

充電中や新着SMSなど、本端末の状態をお知らせLEDの点灯や点滅で通知します。

■ 主な通知の種類と点灯／点滅について

本端末起動時：緑色1回点灯

充電中：赤色点灯

充電異常：赤色点滅

新着SMS：点滅色は「メッセージ」アプリで設定→P72

✓お知らせ

- アプリ利用時の点灯／点滅は、アプリによって設定や動作などが異なります。
- お知らせLEDの点灯／点滅についてはLED設定が優先されますが、アプリによってはアプリ側の設定に従って動作する場合があります。ただし、本端末起動時は本機能が優先されます。
- 電源を切った状態で充電を開始した後、充電器から本端末を取り外すと、お知らせLEDが消灯するまで時間がかかる場合があります。
- 通知の内容によっては、スリープモード中のみ点灯します。

画面表示／アイコン

◆ ナビゲーションバーのアイコン

画面下部のナビゲーションバーに、画面を操作するためのアイコンが表示されます。アイコンの名称と動作は次のとおりです。



ナビゲーションバー

🔍 いつでもズームアイコン※

タップ：画面の拡大／元の表示に戻す

📄 なぞってコピーアイコン※

タップ：文字列のコピー→P54

📷 キャプメモアイコン※

タップ：画面のキャプチャ→P53

◀ バックアイコン

タップ：直前の画面に戻る、アプリの終了

🏠 ホームアイコン

タップ：ホーム画面に戻る→P57

ロングタッチ：Googleの起動

📅 履歴アイコン

タップ：最近使ったアプリの表示→P54

※ 画面のカスタマイズ（→P54）の「ナビゲーションバー」で表示／非表示を設定できます。

◆ ステータスバーのアイコン

画面上部のステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンでさまざまな状態を確認できます。

ステータスバー



■ 主な通知アイコン

- ✉: 新着Gmail→P76
- ✉: 新着NX!メール→P72
- ✉: 新着ドコモメール→P70
- ✉: 新着SMS→P70
- ✉: 新着ハンガアウト
- ✉: 新着エリアメール→P76
- ❗: SMSの送信失敗→P70
- 📶: Wi-FiがONでWi-Fiネットワークが利用可能→P110
- 📶: Wi-Fiテザリングが有効→P116
- 📶: USBテザリングが有効→P116
- 📶: Bluetoothテザリングが有効→P117
- 📶: 2つ以上のテザリングが有効→P116
- 📶/📶: データのアップロード完了/ダウンロード完了
- 📶: Google Playなどからのアプリがインストール完了→P84
- 📶: Google Playのアプリがアップデート可能→P84
- 📶: φ3.5イヤホン接続中
- 📶: バックグラウンドでフルセグ・ワンセグの視聴中/視聴予約の通知あり→P86
- 📶: バックグラウンドでフルセグ・ワンセグの録画中/録画予約の通知あり→P86

- 📶: アラームのスヌーズ中/鳴動中/開始時刻2時間以内→P103
- 📶: ドコモデータコピーの通知あり→P106
- 📶: 安心データ保存の通知あり→P141
- 📶: ソフトウェアアップデート→P169
- 📶: スクリーンショットで画像を保存→P39
- 📶: 位置提供設定ON→P128
- 📶: おまかせロック設定中
- 📶: 本端末のメモリの空き容量低下
- 📶: 電池にやさしい充電設定中→P126
- 📶: Dolby Audio設定がON→P124
- 📶: エラー/警告メッセージあり
- 📶: dアカウント設定の認証失敗→P128
- 📶: 表示しきれない通知あり

■ 主なステータスアイコン

- 📶: 電波状態
- 📶: 圏外
- 📶: 国際ローミング中
- 📶/📶: 4G* (LTE) / 3G使用可能
 - ・通信中は△(アップロード時) ▽(ダウンロード時) が白く表示されます。
 - ※本端末は、LTE接続時は常に「4G+」が表示されます。
- 📶: 機内モード設定中→P115
- 📶: Wi-Fi接続中→P110
 - ・通信中は△(アップロード時) ▽(ダウンロード時) が白く表示されます。
- 📶: マルチコネクションが有効→P112
- 📶: Bluetooth機能ON→P147
- 📶: Bluetooth機器接続中→P148
- 📶: [通知の鳴動制限※] を [アラームのみ] または [優先する通知のみ] に設定
- 📶: [通知の鳴動制限※] を [サイレント] に設定中

※ パネルスイッチから設定できます。ご利用になる場合は、あらかじめパネルスイッチに「通知の鳴動制限」を追加してください。→P51

📺: フルセグ・ワンセグの録画／視聴予約設定中、アラーム設定中→P86、P103

📍: GPS測位中→P101

👤: マナーモード（通常マナー）→P123

🔇: マナーモード（サイレントマナー）→P123

🔊: マナーモード（アラームONマナー）→P123

🔋: 電池残量0～15%※

🔋: 電池残量16～28%※

🔋: 電池残量29～100%※

※ 電池残量に応じてアイコンの残量表示部分が変化します。

🔌: 充電中→P34

🔦(白): 持ってる間ON設定中（動きを検出して画面点灯中）→P121

🔦(グレー): 持ってる間ON設定中→P121

👜: 手袋タッチON→P142

🔑: VPN接続→P117

📶: ドコモnanoUIMカード未挿入

🇮🇵: かな入力モード→P40

🇺🇸: 英字入力モード→P40

🇯🇵: 数字入力モード→P40

📝: 手書き入力モード→P40

☰: 記号／顔文字／絵文字、定型文入力→P40

◆ 通知パネル

ステータスバーを下方方向にフリックすると、通知パネルを開くことができます。通知パネルでは、通知アイコンの情報を確認したり設定を行ったりできます。

1 ステータスバーを下方方向にフリック



① 設定

設定メニューを表示することができます。→P109

② パネルスイッチを開く

表示されていないパネルスイッチを表示することができます。→P51

③ パネルスイッチ

- パネルスイッチの一部が表示されます。→P51
- パネルスイッチをタップすると、機能や設定のON／OFFを切り替えることができます。
- パネルスイッチを下方方向にフリックすると、表示されていないパネルスイッチを表示することができます。→P51

④ 通知

- 通知をタップすると、詳細を確認したり、対応するアプリを起動したりすることができます。
- 通知をロングタッチまたは、左右にスライドして  をタップすると、通知設定をすることができます。

⑤ すべて消去

通知をすべて削除して通知パネルを閉じることができます。

通知の内容によっては削除されない場合や「すべて消去」が表示されない場合があります。

✓お知らせ

- 通知パネルを閉じるには、通知パネルを上方向にフリック、または  (バック) をタップします。

◆ パネルスイッチ

ステータスバーを2本指で下方向にフリックすると、パネルスイッチを開くことができます。パネルスイッチをタップして、機能や設定のON/OFFを切り替えることができます

1 2本指でステータスバーを下にフリック



① ユーザー

ユーザー／ゲストの追加や切り替えができます。→ P127

② 編集

パネルスイッチをロングタッチしたままドラッグして、削除や追加をすることができます。編集画面で  → [リセット] をタップすると、編集内容をリセットできます。

③ 設定

設定メニューを表示することができます。→ P109

④ パネルスイッチを閉じる

パネルスイッチを閉じて、通知パネルを表示することができます。→P50

⑤ パネルスイッチ

パネルスイッチをタップすると、機能や設定のON／OFFを切り替えることができます。
パネルスイッチをロングタッチすると、対応する設定メニューが表示されます。

⑥ 通知→P51

⑦ 画面の明るさのレベル

スライダーをスライドして明るさを調整できます。

⑧ インジケータ

パネルスイッチのページ枚数と現在表示位置を示します。

✓お知らせ

- パネルスイッチを閉じるには、パネルスイッチを上方向にフリック、または $\leftarrow$ (バック)をタップします。
- 充電中はNFCを利用できないため、パネルスイッチのNFCはON／OFFを操作できません。

◆ スリープモード

スリープモードにすると、画面が消灯してタッチパネルの誤動作を防止したり、画面ロックをかけたりします。また、電池の消費を抑えることもできます。

1

✓お知らせ

- 本端末を一定時間操作しなかったときも、[画面消灯時間] (→P120) の設定に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。

◆ 画面ロックの解除

1 スリープモード中に

2 ロック画面で

ロックが解除されます。



「ひつじのしつじくん」® ©NTT DOCOMO

- [セキュリティ解除方法] の設定 (→P131) によっては、ロック画面をスワイプ後に認証操作になります。
- ロック画面のをタップすると「カメラ」アプリが起動します。
- ロック画面のをタップすると「しゃべってコンシェル」アプリが起動します。
- ロック画面のをタップすると「InkMemo」アプリが起動します。

✓お知らせ

- ロック画面は約10秒後にスリープモードになります。

◆ スライドイン機能

画面の端にあるスライドスポット（スライドを始める位置）から指をスライドすることで、スライドインランチャーやキャプメモ／なぞってコピーを呼び出すことができます。

- スライドイン機能の設定については、「スライドイン機能」をご覧ください。→P142

◆ スライドインランチャー

スライドインランチャーに登録されたショートカットからアプリを起動します。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、スライドインランチャーのショートカットで指を離す

- お買い上げ時は画面の左下隅、左上部、右上部のスライドスポットにスライドインランチャーが設定されています。
- スライドインランチャーと同時に呼び出される $\square$ の位置で指を離すと、スライドイン機能を設定できます。

2 目的の操作を行う

◆ キャプメモ

表示されている画面をキャプチャして、画像として編集したり、他のアプリと共有したりできます。

- 画面によってはキャプチャできない場合があります。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、[キャプメモ]領域で指を離す

- お買い上げ時は画面の右下隅のスライドスポットにキャプメモ／なぞってコピーが設定されています。
- ナビゲーションバーに $\square$ が表示されている場合は、 $\square$ をタップします。

2 目的の操作を選択

画像を編集：ツールをタップして編集操作を行う→
[保存]

- 画像は、「アルバム-Scene」アプリ（→P100）などで確認できます。
- 描画ツールで画像に文字や絵などを手書きしたり、トリミングや拡大／縮小したりできます。

他のアプリと共有：[共有] →アプリを選択→画面の指示に従って操作

- [共有] の隣に表示されているアプリアイコンをタップしてもアプリを起動できます。

✓お知らせ-----

- ブラウザ表示中にWebページをキャプチャした場合は、URLの情報も同時に取得されます。URLの情報を共有時に貼り付けるかどうかは、画像編集画面で $\square$ →[URL共有設定] をタップして設定できます。

◆ なぞってコピー

画面を指でなぞって選択した文字列を、コピーしたり他のアプリと共有したりできます。

1 スライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて、[なぞってコピー]領域で指を離す

- お買い上げ時は画面の右下隅のスライドスポットに「キャプメモ／なぞってコピー」が設定されています。
- ナビゲーションバーにが表示されている場合は、をタップします。

2 コピーしたい文字列を指でなぞる

認識された文字にマーカーが引かれ、プレビュー表示されます。

- プレビューをタップするとキーボードが表示され、文字を編集することができます。
- 選択した文字列や背景画像によっては、正しく認識されない場合があります。

3 目的の操作を行う

文字列をコピー：[コピーする]

- /をタップして、プレビューの表示／非表示を切り替えられます。[クリア] をタップすると、文字列の選択が解除されます。

他のアプリと共有：貼り付け先のアプリを選択

- 選択した文字列によって、表示されるアプリが異なります。

◆ 画面のカスタマイズ

キーボードのデザインやナビゲーションバー、電池アイコンを変更できます。

1 ホーム画面で→[設定]→[画面・音・アプリ]→[壁紙・画面]→[詳細カスタマイズ]

2 各項目を設定

タスク管理

 (ホーム) をタップするなどしてアプリの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリが実行中の状態になることがあります。本機能で実行中のアプリを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。

1 (履歴)

最近使ったアプリが表示されます。

- サムネイルをタップするとアプリを表示できます。
- サムネイルを左右にフリックしたり、[X] をタップしたりするとアプリを終了できます。すべてのアプリを終了するには [全て終了] をタップします。

✓お知らせ-----

- 最近使ったアプリの表示／非表示を設定できます。→ P136

分割画面

画面を2分割して、それぞれの画面で異なる2つのアプリを同時に操作できます。

- 表示するアプリをあらかじめ起動しておいてください。
- 分割画面に対応していないアプリは、本機能で表示できません。

1 (履歴)

最近使ったアプリが表示されます。

2 表示するアプリのサムネイルをロングタッチして画面の端に表示される[分割画面を使用するにはここにドラッグします]までドラッグ

- 画面上部に「アプリで分割画面がサポートされていません」と表示された場合は、本機能で表示できません。

3 表示するアプリのサムネイルをタップ

- アプリがサムネイル表示されていない場合は、 (ホーム) をタップして表示するアプリを起動してください。

✓お知らせ

- 分割画面は、横画面表示では左右、縦画面表示では上下に分割して表示されます。
- 後から分割画面に表示したアプリ（縦画面表示の場合は画面下側）は切り替えができます。アプリを切り替えるには、 をタップしてアプリのサムネイルを選択するか、 (ホーム) をタップして表示するアプリを起動します。
- 画面中央の を左右（縦画面表示の場合は上下）にドラッグすると、分割サイズを変更できます。
- 画面中央の を画面左端または右端（縦画面表示の場合は上部または下部）までドラッグするか、 をロングタッチすると、分割画面を終了できます。
-  が表示されているときは、分割画面が継続されています。ホーム画面やアプリ一覧画面などを表示した際、 をタップすると分割画面に戻ります。

ホームアプリの切り替えかた

●(ホーム) をタップして表示される画面 (ホーム画面) を変更します。本端末には「docomo LIVE UX」「NX! ホーム (かんたん)」「NX! ホーム (キッズ)」「NX! ホーム (スタンダード)」の4種類のホームアプリが用意されています。

1 ホーム画面で  → [設定] → [画面・音・アプリ] → [壁紙・画面] → [ホーム画面切替]

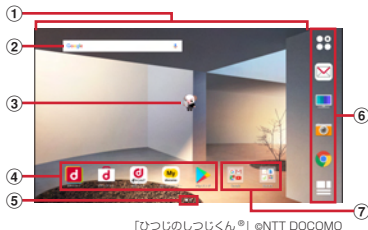
2 切り替えるホームアプリを選択

✓お知らせ-----

- ホームアプリによっては、ホームアプリを切り替えると、ホーム画面とロック画面の壁紙が変更される場合があります。

ホーム画面

ホーム画面は、ウィジェットを貼り付けたり、アプリを起動したりすることができます。ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。



- ① **カスタマイズエリア**
アプリ、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。
- ② **ウィジェット**
ウィジェット（Google™検索）を起動できます。
- ③ **マチキャラ**
着信やメール受信などのお知らせを表示します。
- ④ **アプリ**
アプリを起動できます。
- ⑤ **インジケータ**
ホーム画面のページ枚数と現在表示位置を示します。

- ⑥ **ドック**
ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。
■ **アプリボタン**：アプリー覧画面を表示します。→ P59
■ **マイマガジンボタン**：マイマガジンを表示します。→ P64
- ⑦ **フォルダ**
複数のアプリを格納できます。

◆ ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面に好みのアプリやウィジェットを貼り付けたり、フォルダを作成してアプリを管理したりできます。

- アプリは、ホーム画面またはアプリー覧画面のいずれかに配置されます。
- ホーム画面に配置されたアプリ、ウィジェット、フォルダをロングタッチしてドラッグすると、位置を変更できます。

- 1 **カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ**
- 2 **[アプリを表示]／[ウィジェットを表示]／[フォルダを作成]**

3 必要に応じて項目の選択や設定を行う

- アプリ／ウィジェット一覧画面でアイコンをロングタッチして画面下部のホーム画面表示領域までドラッグすると、ホーム画面にアプリを移動したり、ウィジェットを追加することができます。
- フォルダを選択してフォルダ名をタップすると、フォルダ名を変更することができます。
- アプリをロングタッチして、他のアプリの上にドラッグしてもフォルダを作成することができます。
- ウィジェットによっては、ロングタッチしてサイズを変更することができます。

✓お知らせ

- ドック（→P57）にもアプリやフォルダを配置できません。ただし、は移動／削除／変更ができません。はホーム画面で→→「マイマガジン利用設定」をタップして、ホーム画面表示の有無を設定できます。

◆アプリ／ウィジェットをホーム画面から削除

1 削除するアプリ／ウィジェットをロングタッチ

2 [アプリ一覧に戻す]／[ホーム画面から削除]までドラッグ

- アプリの場合はアプリ一覧画面（→P59）に移動します。

アプリやウィジェットの無効化：アプリまたはウィジェットをロングタッチして「アプリ無効化」までドラッグ→「無効にする」→「無効にする」

✓お知らせ

- アプリをロングタッチして「アンインストール」が表示された場合は、アプリを「アンインストール」までドラッグして「OK」をタップすると、アンインストールすることができます。

◆きせかえ／壁紙の変更

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 [きせかえを変更]／[壁紙を変更]

3 項目の選択や設定を行う

✓お知らせ

- きせかえの設定は、ホーム画面で→→「きせかえ」をタップしても設定できます。また、ホーム画面で→「壁紙」→「きせかえを変更する」をタップしても設定できます。
- 壁紙の設定は、ホーム画面で→「設定」→「画面・音・アプリ」→「壁紙・画面」→「壁紙」をタップし、表示された各項目から選択しても設定できます。
- ナビゲーションバー、電池アイコンも変更できます。→P54

◆ マチキャラの設定

キャラ表示やキャラ移動、吹き出し表示、キャラ自動アップデート設定などを変更できます。

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 [マチキャラ設定]

3 各項目を設定

◆ ホーム画面の追加／削除

最大7枚までのホーム画面を設定できます。

1 カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ

2 [ホーム画面一覧]

3 目的の操作を行う

追加：[ホーム画面を追加する]

並べ替え：ホーム画面のサムネイルをロングタッチして移動先までドラッグ

削除：[×]

・アプリやウィジェットなどが配置されている場合は、削除の確認画面が表示されます。

表示：ホーム画面のサムネイルをタップ

✓お知らせ

- ホーム画面で $\square \rightarrow \rightarrow$ → [ホーム画面一覧] をタップしても設定できます。また、ホーム画面の任意の位置でピンチインしても、ホーム画面一覧を表示できます。

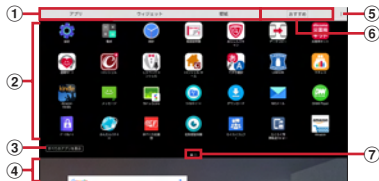
アプリ一覧画面

アプリ一覧画面を呼び出し、登録されているアプリを起動したり、アプリやウィジェットをホーム画面に移動したりできます。

- ・アプリ一覧画面にないアプリは、ホーム画面に配置されています。
- ・アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。

1 ホーム画面で $\square$

- ・初回起動時は操作ガイドが表示されます。[以後表示しない] または [OK] をタップします。
- ・ホーム画面を下方向へフリックしてもアプリ一覧画面を表示できます。



- ① アプリ／ウィジェット／壁紙の切り替えタブ
- ② アプリ／ウィジェット／壁紙の一覧（タブごとに表示）
 - ・左右にフリックして選択したり、設定したりします。
 - ・アプリによっては、アイコンに未読件数などが表示されるものがあります。

- ・アプリ／ウィジェットをロングタッチしたままホーム画面表示領域へドラッグすると、ホーム画面にアプリを移動したり、ウィジェットを追加できます。

③ すべてのアプリを表示ボタン→P63

④ ホーム画面表示領域

- ・左右にフリックするとホーム画面のページを切り替えられます。
- ・上方向にフリックするか、タップするとホーム画面が表示されます。

⑤ オプションメニュー

きせかえや本体設定などのオプションメニューを表示します。

⑥ おすすめボタン

ドコモがおすすめするアプリをインストールできます。→P63

⑦ インジケータ（タブごとに表示）

一覧画面のページ枚数と現在表示位置を示します。

✓お知らせ

- ・アプリ一覧画面で：[ヘルプ] をタップすると、docomo LIVE UX操作ガイドを確認できます。

◆ プリンアプリ一覧

 **@Fケータイ応援団**：@Fケータイ応援団のサイトに接続します。

 **Amazon**：「Amazon」での買い物物を快適に行える公式アプリです。

 **Amazon Kindle**：Kindleストアで扱っている数多くの本やコミック、雑誌などの閲覧ができるアプリです。

 **Bamboo Paper**：本端末を紙のノートのように使えるアプリです。簡単にメモ書きやスケッチ、描画ができます。

 **Chrome**：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P78

 **DiXiM Player**：ホームネットワーク上のテレビ録画番組や写真、音楽、ビデオをお手持ちの機器で視聴できるアプリです。ご利用には、Wi-Fi環境が必要となります。→P154

 **dポイント**：dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。

 **dマーケット**：音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。→P84

 **dメニュー**：「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。→P84

 **Excel**：Android™向けのMicrosoft Excelアプリです。

 **Gmail**：Googleや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。→P76

 **Google**：本端末内やWebサイトを検索します。→P105

 **i コンシェル**：タブレットがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートするサービスです。

あなたのスケジュールやお住まいのエリア、現在地に応じて、雨雲アラームや鉄道運行情報、おでかけスポットなど、毎日の生活に役立つ情報を最適なタイミングでお届けします。

 **i コンシェルホーム**：タブレットを家の中に据え置いて利用するためのタブレット専用アプリです。

天気・気象情報や鉄道運行情報、スケジュール、チラシ情報、地域行政情報、ドコモからのお知らせなどが常時表示され、音声による操作も可能です。ご家族との情報共有などにご利用いただけます。

 **LAWSON**：ローソンの公式アプリです。ケータイが会員カード代わりになるデジタル会員証の表示や店舗検索、おトクなお試し引換券のチェックができます。

 **Ink Launcher**：メモ書きやスケッチ、リアルタイムでのコラボレーションなどデジタルインクの新たな世界を広げます。

 **Ink Memo**：メモをすぐに書き留めることができます。

 **Ink Note**：メモ、考え、アイデアをすぐに書き留めることができます。

 **My docomo アプリ**：お客様のデータ使用量やご利用料金、ご契約内容などの情報をご確認いただけます。

 **NX!メール**：ドコモメールやGmail、インターネットメールなど複数のメールアカウントを設定し、一括で管理することができます。→P72

 **OneDrive**：Android向けのMicrosoft OneDriveアプリです。

 **OneNote**：Android向けのMicrosoft OneNoteアプリです。

 **Play Music**：音楽を再生します。

 **Play ストア**：Google Playを利用できます。→P84

 **Playムービー & TV**：映画をレンタルして視聴できます。ダウンロードして好きなときに視聴することもできます。

 **PowerPoint**：Android向けのMicrosoft PowerPointアプリです。

 **Twitter**：Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。

 **Word**：Android向けのMicrosoft Wordアプリです。

 **YouTube**：YouTube™の動画が見られます。

 **アルバム・Scene**：カメラで撮影した静止画や動画、本端末にダウンロードした静止画や動画を表示／再生できます。→P100

 **あんしんスキャン**：ウイルス検知、個人データを利用するアプリの確認支援、危険サイトアクセス時の注意喚起などにより、スマートフォンを安心してご利用いただくためのアプリです。

 **遠隔サポート**：「あんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「あんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの機種画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→P166

 **おすすめアプリ**：ホームアプリが「docomo LIVE UX」以外に設定されている場合に表示されます。ドコモがおすすめるアプリをインストールできます。→P63

 **音声検索**：端末に向かって話すだけでGoogle検索が利用できます。→P106

 **カメラ**：静止画や動画を撮影します。→P93

 **カレンダー**：カレンダーの表示とスケジュールの登録ができます。

 **かんたんインターネット**：簡単な操作で、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P81

 **虹彩認証体験**：虹彩認証を体験するアプリです。

 **災害用キット**：災害用伝言板と災害用音声お届けサービス、緊急速報「エリアメール」をご利用いただくためのアプリです。→P76

 **ジェスチャー操作設定**：ジェスチャー操作の設定を行います。→P38

 **しゃべってコンシェル**：話しかけるだけであなたの意図を読み取り、天気や乗換情報を調べたり、アラーム設定などが簡単にできます。また、豊富なキャラクターとの会話もお楽しみいただけます。

 **スケジュール**：スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。i コンシェルに対応しています。→P104

 **設定**：本端末の各種設定を行います。→P109

-  **ダウンロード**：サイトからダウンロードした画像などのデータを管理することができます。
-  **データコピー**：機種変更時のデータ移行や、「microSDカード」もしくは「データ保管BOX」へのバックアップ・復元ができるアプリです。→P106
-  **データ保管BOX**：データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。
-  **てがき翻訳**：指やスタイラスペンで画面に文字を書くだけで相手の言語に翻訳するアプリです。文字だけでなく、イラスト・写真も活用しながら言語の異なる相手とのコミュニケーションを楽しむことができます。
-  **テレビ**：フルセグ／ワンセグを視聴します。→P86
-  **電卓**：加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。→P105
-  **時計**：アラーム、時計、タイマー、ストップウォッチ、世界時計が利用できます。→P103
-  **ドコモ電話帳**：ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoのアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。→P66
-  **ドコモメール**：ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。→P70
-  **ドライブ**：本端末に保存されている写真や動画などをGoogleドライブ™にアップロードして、複数のデバイスからアクセスできます。文書を作成して共有したり、編集したりできます。
-  **取扱説明書**：本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。

-  **トルカ**：お気に入りのお店のお得なクーポン・便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。→P86
-  **パーソナルノート**：ID（アカウント）やパスワードなどの認証情報を登録して管理します。→P135
-  **ハングアウト**：Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。Googleアカウントのメンバーとチャットができます。
-  **ファイルマネージャー**：本端末やmicroSDカードなどのデータを管理できるアプリです。→P146
-  **フォト**：写真の閲覧や加工ができます。またGoogleのクラウドに保存することもできます。
-  **フォトコレクション**：写真や動画を無料で5GBまでクラウドにバックアップし、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからアクセスできるサービスです。
-  **マイマガジン**：ホームアプリが「docomo LIVE UX」以外に設定されている場合に表示されます。お客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。→P64
-  **マップ**：現在地の表示や別の場所の検索、経路検索などを行うことができます。→P102
-  **マネレコ**：銀行口座の残高やクレジットカードの明細などをまとめて確認できる家計簿アプリです。
-  **メッセージ**：SMSの送受信ができます。→P70
-  **メモ**：メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。i コンシェルに対応しています。
-  **らくらくコミュニティ**：趣味や生活に役立つクチコミ、面白い情報が満載で、登録者どうしでの交流が楽しめるインターネット上のコミュニケーションアプリです。

 **らくらく写真転送 for arrows** : らくらくスマートフォン4 (F-04J) と本端末を合わせるだけで、らくらくスマートフォン4で撮影した写真や動画を本端末に簡単に転送して大画面で楽しむことができます。F-02Kの端末同士の転送も可能です。

✓お知らせ

- このプリインアプリ一覧は、お買い上げ時でホーム画面またはアプリ一覧画面に表示されているものです。
- プリインアプリによっては、別途お申し込み（有料）が必要な場合があります。
- プリインアプリによっては、アンインストールできる場合があります。
- アンインストールしてもPlayストアなどで再度ダウンロードできる場合があります。→P84
- プリインアプリによっては、初回起動時にPlayストアやドコモのサイトにアクセスしてインストールが必要な場合があります。

◆ アプリ一覧画面の管理

1 アプリ一覧画面表示中に目的の操作を行う

アプリの無効化 : アプリをロングタッチして【アプリ無効化】までドラッグ→【無効にする】→【無効にする】

アプリのアンインストール : アプリをロングタッチして【アンインストール】までドラッグ→【OK】

アプリの並べ替え : アプリをロングタッチして移動先までドラッグ

◆ おすすめアプリのインストール

【おすすめ】 ボタンをタップすると、ドコモがおすすめするアプリが表示されます。

1 ホーム画面で→【おすすめ】

- 初回起動時はおすすめアプリの確認画面が表示されます。内容を確認して【おすすめアプリを見る】をタップし、説明画面で【X】／【おすすめアプリ一覧へ】をタップするとおすすめアプリの一覧画面が表示され、おすすめアプリの通知もONになります。

2 アプリを選択→画面の指示に従ってダウンロードを行う

✓お知らせ

- おすすめアプリ一覧でをタップすると、【通知設定】でおすすめアプリの通知のON／OFFを切り替えられます。

◆ すべてのアプリを表示

アプリを検索する機能です。

1 ホーム画面で→【すべてのアプリを表示】

すべてのアプリが一覧になったページが表示されます。そのページでアプリをタップするとアプリが起動します。をタップすると、アプリのある画面に遷移し、アイコンにフォーカスが当たった状態で表示されます。

ホーム画面のバックアップと復元

ドコモクラウドにバックアップされたdocomo LIVE UXのデータを使って、ホーム画面のアプリやウィジェットなどの配置を復元することができます。その際、ホーム画面の最後にドコモサービスのページが追加されます。

- ホーム画面のバックアップ／復元を行うには、dアカウントの設定が必要です。

◆ ホーム画面のバックアップ

1 ホーム画面で→→[配置のバックアップと復元]

2 →[バックアップ]

◆ ホーム画面の復元

1 ホーム画面で→→[配置のバックアップと復元]

2 [最新のバックアップデータを復元]→[復元する]

一覧からデータを復元：[バックアップデータ一覧から復元] → データを選択 → [復元] → [復元する]

✓お知らせ

- アイコンやウィジェットによっては復元されない場合があります。また、ホーム画面の最終ページにドコモサービスが追加されない場合もあります。

マイマガジン

マイマガジンはお客様が選んだジャンルの記事が表示される検索サービスです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。お知らせの通知や位置情報、ドコモサービス契約情報などを利用したマイマガジンのカスタマイズが利用できるように設定することもできます。

◆ 記事の見かた

1 ホーム画面で

ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。

- 初回設定時はマイマガジンの説明画面が表示され、ジャンルを選択することができます。内容を確認して [OK] をタップします。
- ホーム画面を上方向へフリックしてもマイマガジンを表示できます。
- Twitter連携や情報のご利用についての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 左右にフリックするとジャンルを切り替えられます。

2 読みたい記事をタップ

◆ ジャンル設定

マイマガジンで表示したい情報のジャンルを選択できます。

1 ホーム画面で

ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。

2 →[表示ジャンル設定]→ジャンルを選択

✓お知らせ-----

- 記事一覧画面でをタップすると、マイマガジンの設定を変更したり、ヘルプを確認できます。

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXの提供者やバージョン情報などが確認できます。

1 ホーム画面で→→[アプリ情報]

- docomo LIVE UXのアップデートがある場合には、アプリケーション情報画面に「今すぐアップデート」ボタンが表示され、タップするとdocomo LIVE UXをアップデートします。

電話帳

電話帳の使いかた

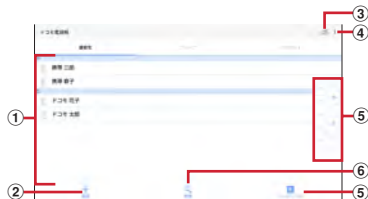
電話帳には電話番号やメールアドレスなどを登録できます。簡単な操作で登録した相手に連絡できます。

- 電話帳でクラウドを利用するには、ドコモ電話帳アプリが必要となります。ドコモ電話帳アプリを初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、「クラウドの利用について」の画面が表示され、クラウドの利用開始ができます。
- ユーザーやゲストが利用できる機能を利用している場合、ゲストはドコモ電話帳のクラウドサービスに関わるすべての機能が使用できません。

1 ホーム画面で【ドコモクラウド】→【ドコモ電話帳】

2 【連絡先】

電話帳リストが表示されます。



電話帳リスト

① 名前

タップしてプロフィール画面を表示します。プロフィール画面ではメッセージ（SMS）やメールの送信ができます。

② 登録→P67

電話帳を新規登録します。

③ クラウドへのログイン／ログアウト

④ サブメニューの表示

連絡先削除、クラウドメニュー、SDカード／SIMカード／共有、設定、ヘルプ、連絡先登録件数、アプリケーション情報表示の操作ができます。

⑤ インデックス

五十音順、アルファベット順などで検索ができます。

⑥ 検索

連絡先の検索ができます。

◆ 連絡先を登録

- 1 電話帳リストで[登録]→各項目を設定→[登録完了]
 - クラウドと同期できるのは、docomoのアカウントで登録した連絡先データです。
 - Googleアカウントを登録している場合は、アカウント欄の[設定]をタップしてGoogleアカウントを選択できます。

◆ 連絡先の編集

- 1 電話帳リストで連絡先を選択→[編集]→各項目を編集→[登録完了]

◆ 連絡先の削除

- 1 電話帳リストで削除する連絡先を選択→⋮→[削除]→[OK]
 - 電話帳リストで⋮→[連絡先削除]をタップすると、連絡先を選択して削除できます。[全選択]にチェック→[決定]→[OK]をタップすると、全件削除できます。

◆ グループの利用

- 1 電話帳リストで[グループ]
- 2 [グループ追加]→各項目を設定→[OK]
グループの並べ替え：[並べ替え]→グループをタップして上下にスライド→[決定]
グループの編集：グループリストでグループをタップ→[編集]→各項目を設定→[OK]
 - グループリストでグループをロングタッチ→[グループ編集]をタップしても編集できます。**グループの削除**：グループリストでグループをロングタッチ→[グループ削除]→[OK]
 - グループリストで⋮→[グループ削除]をタップすると、グループを選択して削除できます。

✓お知らせ

- docomoのアカウントのグループのみ並べ替えができます。

◆ 連絡先のグループ登録

- 1 電話帳リストで[グループ]
- 2 グループを選択→[メンバー追加]→追加する連絡先にチェック→[決定]→[OK]
グループ登録の解除：グループを選択→[メンバー削除]→削除する連絡先にチェック→[決定]→[OK]

◆ プロフィール画面の表示

- 1 電話帳リストで名前を選択**
プロフィール画面が表示されます。



- ① アカウントアイコン
- ② 電話帳に設定された画像と名前
- ③ 登録情報
項目をタップするとEメール送信などができます。
ロングタッチするとオプションを表示します。
- ④ お気に入り
「お気に入り」に追加されます。
- ⑤ 編集
- ⑥ SMS
SMS作成画面を表示してメッセージを送信できます。

✓お知らせ-----

- ・「お気に入り」に登録した電話帳を表示するには、電話帳リストで「グループ」→「お気に入り」をタップします。

◆ 連絡先のインポート／エクスポート

- 1 電話帳リストで：→[SDカード／SIMカード／共有]→項目を選択**

SIMカードから復元：電話番号、メールアドレスの種別は「その他」としてインポートされます。

SDカードへバックアップ／復元：ドコモデータコピーアプリを使用して、電話帳やその他のデータをmicroSDカードなどに、一括でバックアップ／復元することができます。→P106

全件データ送信（共有）：電話帳の全件データのエクスポートデータ（.vcf）が作成されますので、通知パネルを開いて「連絡先のエクスポートの完了 タップして連絡先を共有してください。」の通知をタップします。共有するためのBluetooth通信やメールなどのアプリを選択して送信の操作を行います。

※ アプリによっては対応していない場合もあります。

✓お知らせ-----

- ・本端末から i モード端末へBluetooth通信で電話帳全件送信を行うと、正常にデータが移行できません。

◆ マイプロフィール

ご利用の電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を登録したり編集したりできます。

1 ホーム画面で[ドコモクラウド]→[ドコモ電話帳]

2 [マイプロフィール]

3 [編集]→各項目を設定→[登録完了]

- マイプロフィール一斉送信を行う場合は、⋮→[マイプロフィール一斉送信]ををタップし、以降は画面の指示に従って操作してください。

ドコモメール

ドコモのメールアドレス (@docomo.ne.jp) を利用して、メールの送受信ができます。

送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で

以降は画面の指示に従って操作してください。

メッセージ (SMS)

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

※ 送受信できる文字数などの詳細については、ドコモのホームページの「ショートメッセージサービス (SMS)」をご覧ください。

◆ SMSを作成して送信

- 1 ホーム画面で→[メッセージ]
- 2 [新規作成]→携帯電話番号を入力→[確定]
 - 電話番号やふりがなを入力すると、電話帳で一致する連絡先が表示され、選択することができます。
- 3 [メッセージを入力]→メッセージを入力→[送信]

✓お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いて入力してください。

◆ SMSを受信したときは

SMSを受信すると、ステータスバーに通知アイコン（→P49）が表示されます。通知パネル（→P50）を開いて通知をタップして、新着SMSを確認します。

✓お知らせ

- 本端末の初期化をした際、再起動直後にSMSを受信すると、SMSの通知の設定に関わらず着信音やバイブレータが鳴動しない場合があります。
- 本端末のメモリの空き容量が少なくなると、SMSを受信できません。不要なアプリを削除するなどして、メモリの空き容量を増やしてください。→P85、P125

◆ 送受信したSMSの表示

- 1 ホーム画面で→[メッセージ]
- 2 メッセージスレッドを選択

◆ SMSに返信

- 1 ホーム画面で→[メッセージ]
- 2 メッセージスレッドを選択→[メッセージを入力]→メッセージを入力→[送信]

◆ SMSを転送

- 1 ホーム画面で→[メッセージ]
- 2 メッセージスレッドを選択→SMSをロングタッチ→[転送]
- 3 携帯電話番号を入力→[確定]→[送信]
 - 電話番号やふりがなを入力すると、電話帳で一致する連絡先が表示され、選択することができます。

◆ SMSを削除

- 1 ホーム画面で→[メッセージ]
- 2 メッセージスレッドを選択→SMSをロングタッチ→[削除]→[削除]

✓お知らせ

- メッセージスレッドを削除するには、メッセージスレッドをロングタッチ→[削除] → [削除] をタップします。
- すべてのメッセージスレッドを削除するには、メッセージスレッド画面で [メニュー] → [すべてのスレッドを削除] → [削除] をタップします。

◆ SMSの設定

1 ホーム画面で☰→[メッセージ]→[メニュー]→[設定]

2 各項目を設定

SMSが有効：デフォルトのSMSアプリを変更します。

古いメッセージを削除：保存件数が上限に達したら古いメッセージを削除するかを設定します。

テキストメッセージの制限件数：スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。

バックアップ：本体とmicroSDカード間でメッセージをコピーします。

受取確認通知：送信するメッセージの受取確認を毎回要求するかを設定します。

SIMカードのメッセージ：ドコモnanoUIMカードに保存したメッセージを管理します。

通知：メッセージ受信時にステータスバーで通知するかを設定します。

着信音：メッセージ受信時の着信音を設定します。

バイブレーション：メッセージ受信時に本端末を振動させるかを設定します。

LED：メッセージ受信時のお知らせLEDの色を設定します。

メッセージセンター番号：メッセージセンター番号を設定します。

- 通常は設定を行う必要はありません。

✓お知らせ

- SMSの設定画面で[メニュー]→[初期設定に戻す]をタップすると、お買い上げ時の設定に戻ります。

NX!メール

ドコモのメールアドレス(@docomo.ne.jp)や、一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用します。

- SMSも利用することができます。

1 ホーム画面で☰→[NX!メール]

2 画面の指示に従って操作する

◆ Eメールアカウントの設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 ホーム画面で☰→[NX!メール]

2 [ドコモメール]／[GOOGLEアカウント]／[その他のアカウント]／[EXCHANGE アカウント]

以降は画面の指示に従って操作し、メールアドレスやパスワードなどを入力してメールアカウントの設定をしてください。

✓お知らせ

- すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、フォルダー一覧画面で[メニュー]→[設定]→[アカウント設定]→[新規アカウント追加]をタップして操作します。

- すでにExchangeアカウントが設定済みで、さらに別のExchangeアカウントを追加する場合は、フォルダー一覧画面で [メニュー] → [Exchange設定] → [アカウントを追加] をタップします。

◆ Eメールを作成して送信

1 ホーム画面で☰→[NX!メール]

- フォルダー一覧画面が表示されます。
- フォルダを起動画面に設定 (→P74) している場合は、設定中のフォルダのメール一覧画面が表示されます。

2 [新規作成]

- 複数のメールアカウントがある場合は、「差出人」欄をタップ→使用するメールアカウントをタップして切り替えます。
- Exchangeアカウントとその他のアカウントを同時に設定している場合は、[EXCHANGEメールを作成] / [その他のメールを作成] をタップします。

3 宛先欄にメールアドレスを入力

- 宛先を追加する場合は、宛先を入力した後に表示される宛先欄の下に、メールアドレスを入力します。

4 件名欄に件名を入力

5 メッセージ入力欄にメッセージを入力

6 [送信]

✓お知らせ

- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからの受信拒否の設定をしていると、Eメールを送信できません。
- サービスプロバイダによっては、「OP25B (Outbound Port 25 Blocking) : 迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。

◆ Eメールの受信／表示

1 ホーム画面で☰→[NX!メール]

2 [メニュー]→[更新]

3 フォルダー一覧画面でフォルダを選択→Eメール一覧でEメールを選択

◆ Eメールに返信

1 Eメールを表示

2 [返信]

全員に返信 : [全員に返信]

3 メッセージを入力→[送信]

◆ Eメールを転送

1 Eメールを表示

2 [メニュー]→[転送]

3 メールアドレス／メッセージを入力→[送信]

◆Eメールを削除

- 1 ホーム画面で☰→[NX!メール]
- 2 フォルダー一覧画面でフォルダを選択→Eメール一覧で削除するEメールをロングタッチ→[削除]→[OK]

◆フォルダー一覧画面の操作

- 1 フォルダー一覧画面を表示
- 2 各操作を行う
 - フォルダ内のメール一覧画面を表示：メール一覧画面を表示したいフォルダをタップ
 - フォルダを新規作成：[フォルダ新規作成] → [電話帳のグループからフォルダを作成] / [自分で設定してフォルダを作成] → 項目を設定 → [完了]
 - フォルダを並べ替え：並べ替えたいフォルダをロングタッチ→移動したい位置までドラッグ
 - フォルダを起動画面に設定：起動画面に設定したいフォルダをロングタッチ→[起動画面に設定]
 - NX!メールを起動したときに、設定したフォルダ内のメール一覧が表示されます。
 - 起動画面を解除したい場合は、解除したいフォルダをロングタッチ→[起動画面を解除] をタップします。
 - 作成したフォルダを編集：編集したいフォルダをロングタッチ→[編集] →フォルダの項目を設定→[完了]

作成したフォルダを削除：削除したいフォルダをロングタッチ→[削除] → [OK]
メニューを表示：[メニュー]
メールの更新、アカウントの編集、Eメールのバックアップ／復元、メールの設定などの操作ができます。

◆Eメールの設定

Eメールに関するさまざまな設定をします。

◆NX!メール全般の設定

- 1 フォルダー一覧画面で[メニュー]→[設定]
- 2 各項目を設定
 - 着信設定：メール着信時の動作を設定します。
 - アカウント設定：アカウントの追加や設定をします。
→P72
 - レイアウト変更：フォルダー一覧画面のレイアウトを設定します。
 - マーク：受信メールに付けられるマークを設定します。
 - マークは最大3個設定できます。
 - フォルダ表示：保護／未分類／SMSフォルダを表示するかを設定します。
 - 署名：署名を設定します。
 - SMS：デフォルトで使用するSMSアプリを設定したり、SMS着信時の動作などを設定します。
 - その他：返信時に引用を行う、返信画面で返信元メール／SMSの表示を行う、メール送信中画面の表示を行う、Eメールのバックアップ先の変更などの、NX!メールに関するその他の設定をします。

✓お知らせ

- ・【情報】をタップするとNX!メールのバージョンやメールの保存件数、使用ライセンスを確認できます。
- ・バックアップ先は変更することができます。
ユーザーやゲストが利用できる機能で所有者が使用している場合は、保存先やバックアップ先にmicroSDカードを指定できます。

❖NX!メールのアカウント設定

- ・設定できる項目は、アカウントの種類により異なります。

〈例〉IMAPのアカウントを設定する

1 フォルダー一覧画面で【メニュー】→【設定】→【アカウント設定】

アカウント一覧画面が表示されます。

2 IMAPのアカウントを選択→各項目を設定

表示アカウント名: アカウント名を編集します。

アイコン変更: アカウント名の横に表示されるアイコンを変更します。

送信メールの表示名: Eメールを送信した相手に表示される表示名を編集します。

既定の送信アドレス: チェックを付けたアカウントを、新規メール作成時にデフォルトで使用します。

受信間隔: Eメールの受信間隔を設定します。

メールアドレス編集: 通常は設定変更できません。

受信メールサーバー設定: 受信メールサーバーを設定します。

送信メールサーバー設定: 送信メールサーバーを設定します。

【全ての受信】に表示するフォルダ: 選択したフォルダのメールを「全ての受信」に表示するかを設定します。

返信先アドレス: 送信したアカウントとは別のメールアドレスに返信させたい場合に、返信先のメールアドレスを入力します。

着信音: メール受信時の着信音を設定します。

バイブレーション: メール受信時に本端末を振動させるかを設定します。

LED: メール受信時のお知らせLEDの色を設定します。

送信時の文字コード: Eメールの文字コードを設定します。

✓お知らせ

- ・【受信間隔】に【プッシュ受信】を設定すると、電池の消費が早くなります。
- ・Eメールのアカウントを削除するには、アカウント一覧画面で削除するアカウントをロングタッチ→【削除】→【OK】をタップします。

❖Eメールのバックアップ／復元

■バックアップする場合

1 フォルダー一覧画面で【メニュー】→【メールをバックアップ／復元】

- ・Exchangeはバックアップ対象外の旨の確認画面が表示された場合は、【OK】をタップします。

2 【メールをバックアップ】→[vmg]／[eml]

3 バックアップ対象にチェック→【OK】→【OK】

■ 復元する場合

- 1 フォルダー一覧画面で[メニュー]→[メールをバックアップ／復元]
 - Exchangeはバックアップ対象外の旨の確認画面が表示された場合は、[OK] をタップします。
- 2 [メールを復元]→アカウントを選択
- 3 復元先を選択→復元するデータにチェック→[OK]→[OK]

Gmail

Googleのメールサービスや一般のプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- GoogleアカウントやEメールアドレスを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

◆ Gmailの表示

- 1 ホーム画面で[Google]→[Gmail]
受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。
 - Gmailの詳細については、をタップまたは画面の左端を右にフリック→[ヘルプとフィードバック]をタップしてヘルプをご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象等に関する特別警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件まで保存できます。最大保存件数を超えると、受信日時が古いエリアメールから順に削除されます。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
 - 電源オフ時
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - ソフトウェアアップデート中
 - PINコード入力画面表示中
 - 他社のSIMカードをご利用時
- 端末のメモリの空き容量が少ないとき、テザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメール（緊急地震速報）を再度受信することはできません。エリアメール（津波警報、気象等に関する特別警報、災害・避難情報）は再送され、受信できなかった場合は再度受信が可能になります。

◆ 緊急速報「エリアメール」の受信

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とパイプレーションでお知らせします。

・専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

- 1 エリアメールを自動的に受信する
- 2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示される
- 3 エリアメールの本文が表示される

❖ 受信したエリアメールを後で確認

- 1 ホーム画面で→[災害用キット]
- 2 [緊急速報「エリアメール」]
- 3 エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択

❖ エリアメールの削除

- 1 ホーム画面で→[災害用キット]
- 2 [緊急速報「エリアメール」]
- 3 削除するエリアメールを選択→[削除]→[OK]

◆ 緊急速報「エリアメール」設定

エリアメールを受信するかどうかや、受信時の動作などを設定します。

- 1 ホーム画面で→[災害用キット]
- 2 [緊急速報「エリアメール」]
- 3 →[設定]
- 4 各項目を設定

受信設定：エリアメールを受信するかを設定します。

着信音：専用ブザー音・専用着信音の鳴動時間や音量、マナーモード中でもブザー音・着信音を鳴らすかを設定します。

受信画面および着信音確認：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報（気象等に関する特別警報を含む）のエリアメールを受信したときの受信画面とブザー音・着信音を確認します。

やさしい日本語表示：緊急地震速報・津波警報をわかりやすい日本語で表示するかを設定します。

翻訳・アプリ連携設定：受信内容を翻訳したり、他のアプリとの連携機能を利用するかを設定します。

Chrome

「Chrome」アプリを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。

本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続で「Chrome」アプリを利用できます。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に傾けて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパン（→P37）して見たい部分を表示します。

■ Webページの拡大／縮小

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

◆ Chromeを起動してWebサイトを表示

1 ホーム画面で

ホームページに設定しているWebページが表示されます。

- 画面を下方向にスライドするとWebページの最上部にアドレスバーが表示され、URLやキーワードを入力することができます。

◆ 新しいタブを開く

複数のタブを開いてWebページをすばやく切り替えることができます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→

新しいタブが開き、Webページが表示されます。

切り替え：表示するタブをタップ

閉じる：閉じるタブの [X]

◆ シークレットタブでWebサイトを表示

閲覧履歴や検索履歴を残さずに、Webページを閲覧できます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→

2 [新しいシークレット タブ]

シークレットタブでWebページが表示されます。

- アドレスバーにURLやキーワードを入力します。
- シークレットタブで表示中は画面右上にが表示されます。
- シークレットタブを閉じるには、Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→シークレットタブの [X] をタップします。

✓お知らせ-----

- シークレットタブで開いたWebページは履歴に残りません。シークレットタブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ただし、ダウンロードしたファイルやブックマークに登録したWebページは保存されます。

◆ 履歴からWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮→[履歴]

2 Webサイトの履歴を選択

◆ ブックマークを登録してWebサイトを表示

❖ ブックマークの登録

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→☆

❖ ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→⋮→[ブックマーク]

2 ブックマークを選択

ブックマークの右の⋮をタップすると、編集や削除などができます。

◆ Webサイトのリンク操作

Webサイトに表示されているリンクをタップすると、次の操作ができます。

- リンクをロングタッチするとメニュー項目が表示され、リンクの保存やURLのコピーなどができます。

URLの場合：Webサイトを開きます。

電子メールアドレスの場合：メールを作成します。

ファイルの場合：ファイルを閲覧／保存します。

✓お知らせ-----

- 保存したファイルは、ファイルマネージャーやWebサイト表示中に⋮→[ダウンロード]をタップして確認できます。

◆ Webサイトの画像をダウンロード

1 Webサイト表示中に画像を選択(ロングタッチ)→[画像をダウンロード]

- ダウンロードした画像は、アルバム-Scene (→P100) やWebサイト表示中に⋮→[ダウンロード]をタップして確認できます。

◆ Webサイトの文字列をなぞってコピー

1 Webサイト表示中に画面右下隅のスライドスポットから画面中央へ向かって指をスライドさせて[なぞってコピー]領域で指を離す

2 文字列を指でなぞる

- 以降の操作は「なぞってコピー」をご覧ください。
→P54

◆ Webページを印刷

Wi-Fi対応プリンタやクラウドプリント機能を利用して表示しているWebページを印刷できます。あらかじめプリンタとの接続を設定しておきます。→P152

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→→[共有…]→[印刷]

- 以降の操作は「印刷」をご覧ください。→P153

◆ Chromeの設定

検索エンジンやプライバシーなどの設定ができます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→→[設定]

2 各項目を設定

Chromeにログイン：GoogleアカウントでChromeにログインします。

検索エンジン：Webページを検索するときに使用する検索エンジンを設定します。

自動入力とお支払い：自動入力の利用や、自動入力で使用する住所やクレジットカードの情報を設定します。

パスワードの保存：Webページに入力したパスワードを保存するかを設定します。

ホームページ：ホームページを設定します。

プライバシー：安全性や利便性についての設定をします。

ユーザー補助機能：文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。

サイトの設定：CookieやJavascriptなどサイトに関する設定をします。

データセーバー：データの使用量を抑えるようにするかを設定します。

Chromeについて：アプリのバージョンなど、Chromeに関する情報を確認できます。

かんたんインターネット

わかりやすく使いやすい操作で、Webサイトを閲覧できます。

◆かんたんインターネットでWebサイト表示中の画面操作

画面上部に表示されるボタンで操作します。

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ Webページの拡大／縮小

次の方法で拡大／縮小します。

ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。

ズームコントロール：で拡大し、で縮小します。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパン（→P37）して見たい部分を表示します。

■ Webページを戻る／進む

前に表示していたWebページに で移動します。

■ ホームページに戻る

でホームページに移動します。

◆かんたんインターネットを起動してWebサイトを表示

1 ホーム画面で→[かんたんインターネット]

2 [検索]

3 検索キーワード入力エリアにURL／キーワードを入力

4 [実行]／候補を選択／

再読み込み：Webサイト表示中に [メニュー] → [再読み込みする]

URLなどを表示：Webサイト表示中に [メニュー] → [URLなどを表示する] → [OK]

URL入力して接続：Webサイト表示中に [メニュー] → [URLを入力して接続] → URLを入力 → [接続]

ダウンロード履歴を見る：Webサイト表示中に [メニュー] → [ダウンロード履歴]

タブの一覧を表示：Webサイト表示中に [メニュー] → [タブ一覧を表示する]

Webページを印刷する：Webサイト表示中に [メニュー] → [ページを印刷する]

- あらかじめプリンタとの接続を設定しておきます。→P152
- 以降の操作は「印刷」をご覧ください。→P153

✓お知らせ-----

- 検索サービスを変更することができます。→P83
- Webサイトに表示されているリンクの操作については、「Webサイトのリンク操作」をご覧ください。→P79

◆ かんたんインターネットでブックマークを登録してWebサイトを表示

❖ ブックマークの登録

- 1 Webサイト表示中に[お気に入り]→[ブックマークに登録]→[OK]

❖ ブックマークからWebサイトを表示

- 1 Webサイト表示中に[お気に入り]→[ブックマークを見る]
- 2 ブックマークを選択
題名を変更：[メニュー] → [題名を変更する] → ブックマークを選択→題名を変更→[完了] → [OK]
削除：[メニュー] → [削除する] → ブックマークにチェック→[削除する] → [削除する] → [OK]
並び順の変更：[メニュー] → [並び順を変更する] → 並べ替えの方法を選択
URL表示：[メニュー] → [URLを表示する] → ブックマークを選択 → [OK]
表示方法の切り替え：[メニュー] → [表示方法を切り替える]

◆ かんたんインターネットの履歴からWebサイトを表示

- 1 Webサイト表示中に[お気に入り]→[閲覧履歴を見る]
- 2 履歴を選択→[接続する]
ブックマークに登録：[メニュー] → [ブックマークに登録] → 履歴を選択 → [OK]
削除：[メニュー] → [削除する] → 履歴にチェック → [削除する] → [削除する] → [OK]
URL表示：[メニュー] → [URLを表示する] → 履歴を選択 → [OK]
URLコピー：[メニュー] → [URLをコピーする] → 履歴を選択 → [OK]

◆ かんたんインターネットでWebページを保存して表示

表示中のWebページを保存してオフラインで表示します。

❖ Webページの保存

- 1 Webサイト表示中に[メニュー]→[画面メモを保存する]→[保存する]→[OK]

❖ 保存したWebページの表示

1 Webサイト表示中に[メニュー]→[画面メモ一覧を見る]

2 保存したページを選択

削除: [メニュー] → [削除する] → 削除する画面メモをチェック → [削除する] → [削除する] → [OK]

保護／解除: [メニュー] → [保護・解除する] → 保護／解除する画面メモにチェック／チェックを外す → [保護・解除する] → [実行する] → [OK]

表示方法の切り替え: [メニュー] → [表示方法を切り替える]

✓お知らせ-----

- 保存したWebページを表示したとき、コンテンツによっては以下の動作となります。
 - リンクをタップしてもページ遷移しない場合があります。
 - 広告などWebページ中の一部が表示されない場合があります。
 - Webページ中のJavaScriptは動作しません。

◆ かんたんインターネットの設定

1 Webサイト表示中に[メニュー]→[インターネットを設定する]

2 各項目を設定

文字の大きさ: 文字の大きさを[標準] / [やや大] / [大] / [極大] から選択して設定します。

ホームページの設定: ホームページの設定方法を[直接入力] / [現在のページを使用] / [初期状態に戻す] から選択して設定します。

詳細設定: フォームデータ保存、Cookie、JavaScriptの設定、位置情報、検索サービスの選択、タブ・リンクの開き方、タブの削除方法、設定の初期化について設定します。

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面で[dメニュー]

- アプリの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って利用するアプリを選択してください。アプリが起動し、「dメニュー」が表示されます。

✓お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE／3G）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

dマーケット

音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトや旅行予約サイトなどさまざまなサービスを提供しています。

1 ホーム画面で[dマーケット]

dマーケットのトップ画面が表示されます。

- dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。
<https://d.dmkt-sp.jp/common/about/index.html>

Playストア

Playストアを利用してGoogle Playのサイトへ接続すると、便利なアプリや楽しいゲームを検索して、本端末にダウンロード、インストールできます。また、映画コンテンツをレンタル視聴することができます。

- Google Playを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、Playストアの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
- Google Playの詳細については、Google Play画面で画面の左端を右にフリック→[ヘルプとフィードバック]をタップしてヘルプをご覧ください。
- アプリのバージョンによって項目や表示が異なる場合があります。

◆ アプリのインストール

1 ホーム画面で[Play ストア]

Google Play画面が表示されます。

2 アプリを検索→アプリを選択

3 [インストール] (無料アプリの場合) / [金額] (有料アプリの場合)

- アプリによって表示される内容は異なります。
- アプリが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリにはご注意ください。この画面で「同意する」をタップすると、本端末でのこのアプリの使用に関する責任を負うこととなります。
- 有料アプリの購入、返品、払い戻し請求などについて詳しくは、Google Play画面で画面の左端を右にフリック→[ヘルプとフィードバック] をタップしてヘルプをご覧ください。
- 有料アプリをアンインストールする場合は、払い戻し画面が表示されることがあります。詳しくは、Google Play画面で画面の左端を右にフリック→[ヘルプとフィードバック] をタップしてヘルプをご覧ください。

4 ダウンロードの進捗状況を確認

インストールが完了すると、ステータスバーにが表示されます。

✓お知らせ

- アプリのインストールは、安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが起きる可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールしたアプリなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールしたアプリなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- ホーム画面またはアプリ一覧画面にインストールしたアプリのアイコンが表示されます。
- インストールしたユーザー補助アプリは、ユーザー補助から有効にすることができます。→P143

◆ Google Playのアプリの削除

1 Google Play画面で画面の左端を右にフリック→[マイアプリ&ゲーム]

2 アプリを選択

3 [アンインストール]→[OK]

- 有料アプリで「払い戻し」が表示されない場合、試用期間が終了しています。

トルカ

トルカとは、お気に入りのお店のお得なクーポンや便利な情報などをまとめておくことができるアプリです。メール、ウェブダウンロード、Bluetooth機能、ICタグなど様々な方法で取得できます。取得したトルカは簡単に最新の情報に更新できます。

- トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

✓お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- Bluetooth機能でトルカを取得する際には、トルカアプリのBluetooth機能をONにする必要があります。
- ICタグからトルカを取得する際には、本端末の「NFC」をONにする必要があります。→P150
- コンテンツ提供者の設定によっては、次の機能がご利用になれない場合があります。
更新、トルカの共有、地図表示、読み取り機からの取得
- 本端末のバッテリーセーバー（→P126）やデータセーバー（→P115）の設定にかかわらず、トルカアプリはトルカ取得に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。
- 端末起動後、画面ロックを解除するまでは、Bluetooth機能、ICタグ、読み取り機を利用したトルカは取得できない場合があります。
- 画面消灯中にBluetooth機能でトルカを受信した場合には、画面が点灯する場合があります。

テレビ（フルセグ／ワンセグ）

テレビは、放送波の受信状況に応じてフルセグ／ワンセグを切り替えて視聴できるアプリです。また、映像・音声とともにデータ放送を受信することができ、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。

フルセグは、地上デジタルテレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴できます。

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを視聴できます。

- 「フルセグ／ワンセグ」サービスの詳細については、次のホームページでご確認ください。
一般社団法人 放送サービス高度化推進協会
<http://www.apab.or.jp/>

◆フルセグ／ワンセグのご利用にあたって

- フルセグ／ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- テレビ（フルセグ／ワンセグ）を視聴するときは、TVアンテナを十分に伸ばしてください。→P87

- データ放送領域に表示される情報は、「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要な場合があります。

◆ 放送波について

フルセグ／ワンセグは、放送サービスの1つであり、LTEサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、LTEサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

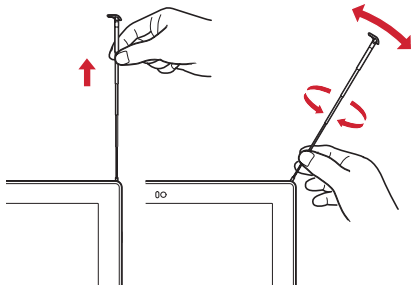
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

TVアンテナを十分に伸ばし、向きを変えたり場所を移動したりすることで受信状態がよくなることがあります。→P87

■ TVアンテナについて

テレビ（フルセグ／ワンセグ）を視聴するときは、TVアンテナが放送電波を受信します。

- TVアンテナを引き出すときは、最後までしっかりと引き出してください。
- TVアンテナの方向を変えるときはTVアンテナの根元近くを持って行います。無理に力を加えないでください。



- TVアンテナを収納するときはTVアンテナの根元近くを持って止まるまで入れます。先端を持って収納しないでください。

◆ テレビの起動

1 ホーム画面で

テレビ視聴画面が表示されます。

- 初回起動時は、視聴する地域に対応したチャンネルリストを作成します。→P93

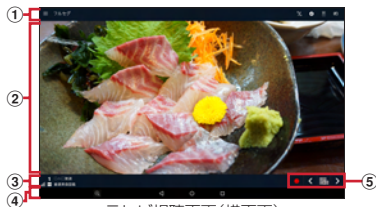
- お買い上げ時のフルセグ／ワンセグの視聴モードは、[自動] に設定されています。テレビ視聴画面でテレビ視聴エリア（→P89）をタップ→をタップすると、視聴モードを切り替えることができます。
[自動] に設定中は、電波受信状況によりフルセグ／ワンセグが自動的に切り替わります。
視聴モードは、画面上部の操作エリアで確認できます。

テレビの終了：（バック）

✓お知らせ

- 起動するときや、起動中に動作を継続するのに最低限必要な電池残量は6%です（充電中は電池残量に関わらず、起動や動作の継続ができます）。
- テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 受信状態によって映像や音声途切れたり、停止したりする場合があります。
- テレビ視聴時にホーム画面に戻った場合やスリープモードになった場合などには、テレビの音声出力が続きます。テレビのバックグラウンド再生を終了するにはテレビ視聴画面に戻り、（バック）をタップしてください。
- [動画補正] にチェックを付けると、ワンセグ視聴時に動画補正エンジンを使用して視聴できます。→P120
- テレビ視聴画面はコピー禁止のデータであるため、視聴中にスクリーンショットやキャプメモ／なぞってコピーは実行できません。

❖ テレビ視聴画面について



テレビ視聴画面（横画面）



テレビ視聴画面（縦画面）

① 操作エリア

- メニューアイコン (≡)、視聴モード (フルセグ/ワンセグ)、視聴モード切り替え (自動/フルセグ固定/ワンセグ固定)、画面回転が表示されます。フルセグの場合は次のアイコンが表示されます。

 (データ) : データ放送を表示

 (リモコン) : リモコンを表示 (横画面のみ)

- 縦画面でフルセグ視聴時に  (データ) をタップしてデータ放送を表示した場合は、 をタップしてリモコンを表示すると、操作アイコンでデータ放送内の操作ができます。

② テレビ視聴エリア

- 左右にフリックするとチャンネルを切り替えられます。

③ チャンネル情報エリア

チャンネル名、テレビの電波強度、マルチ放送アイコン、番組名が表示されます。

④ ナビゲーションバー

⑤ コントローラー

 /  : 録画開始/停止

 /  : チャンネルを切り替え (ロングタッチでチャンネルサーチ)

 : チャンネル一覧をポップアップ表示

- チャンネルサーチで未登録の放送局が見つかったときは、チャンネル一覧を表示→空きチャンネルをロングタッチ→[はい] をタップすると、チャンネル一覧に追加できます。
- 視聴中の放送局のチャンネルを追加登録する場合は、チャンネル一覧を表示→チャンネルをロングタッチ→[チャンネル上書き登録] ※→[はい] をタップします。

※ 空きチャンネルをロングタッチした場合は、本操作は必要ありません。

- チャンネル一覧から放送局を削除するには、チャンネル一覧を表示→登録済みのチャンネルをロングタッチ→[チャンネル削除] →[はい] をタップします。

⑥ コントロールバー (フルセグのみ)

- アイコンをタップすると操作パネルエリアの表示が切り替わります。

 : リモコンを表示

 : チャンネル一覧を表示

 : 番組情報を表示

⑦ 操作パネルエリア

- 表示内容はコントロールバーの各アイコンをタップすると切り替わります。
- ワンセグ視聴時はデータ放送が表示されます。データ放送内の操作をする場合は、画面をタッチ操作するか、操作パネルエリア下部に表示される操作アイコンをタップして行ってください。

✓お知らせ

- テレビ視聴画面で音量キーを押すと、音量を調節できます。
- 横画面では全画面表示となります。画面をタップすると操作エリア、チャンネル情報エリア、コントローラー、ナビゲーションバーが表示されます。

◆ テレビリンク

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報 (テレビリンク) が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、関連サイトを直接表示できます。

◆テレビリンクの登録

1 データ放送領域でテレビリンク登録可能な項目を選択

- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

◆テレビリンクの表示

1 テレビ視聴画面で→[テレビリンク]→テレビリンクを選択→[はい]

登録されたサイトに接続します。

◆テレビリンクの削除

1 テレビ視聴画面で→[テレビリンク]

2 テレビリンクをロングタッチ→[削除]→[はい]

テレビリンクをすべて削除：→[全件削除]→[はい]

◆視聴予約／録画予約

テレビ番組の視聴や録画の予約ができます。

1 テレビ視聴画面で→[録画／視聴予約]

予約一覧が表示されます。

2 →[新規予約]

3 [番組表から]／[視聴予約]／[録画予約]

- [番組表から]を選択した場合は、画面の指示に従って操作してください。

4 各項目を設定→[保存]→[はい]

- ユーザーやゲストが利用できる機能に関する確認画面が表示された場合は [OK] をタップしてください。[次回以降表示しない] にチェックを付けると、次回から確認画面が表示されなくなります。

✓お知らせ

- 予約した時刻が近づくと、ステータスバーに/と予告通知が表示され、アラーム音や振動などでお知らせします。
- 予約した時刻に電源を切っている場合は、予約を実行できません。
- 手動で録画を行っている際に別の予約録画の開始時刻になった場合は、現在の録画を終了して予約録画を開始します。
- 操作2で[番組表から]を選択したときにアプリの更新画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- ユーザーやゲストが利用できる機能を使用している場合、所有者以外に切り替えているときは視聴予約／録画予約を使用できません。また、所有者以外に切り替えたまま予約時刻になると、予約が実行されません。

◆予約内容の確認

予約内容の確認をします。

1 テレビ視聴画面で→[録画／視聴予約]

予約一覧が表示されます。

2 予約項目をタップ

- 予約一覧画面で予約をタップ→→[編集] をタップすると、予約内容を編集できます。

- ・予約一覧画面で予約をタップ→**Ⓔ**→[削除]→[はい]をタップすると予約を1件削除できます。

◆予約失敗結果の確認

予約が失敗した場合に予約結果の詳細を確認します。

1 テレビ視聴画面で**Ⓔ**→[録画／視聴予約]→**Ⓔ**→[予約失敗一覧]

予約失敗一覧が表示されます。

2 予約結果項目をタップ

- ・予約失敗一覧画面で予約結果をロングタッチ→[削除]→[はい]をタップすると予約結果を1件削除できます。

◆番組の録画

テレビ視聴中の映像・音声・字幕・データ放送を録画します。

本体とmicroSDカードにそれぞれ99件まで録画できます。なお、ワンセグはmicroSDカードには保存できません。

- ・テレビ番組の録画保存先は、[フルセグ録画設定]で変更できます。→P92

1 テレビ視聴画面でテレビ視聴エリアをタップ

コントローラーが表示されます。

2 **■**(録画開始)

録画を開始します。

3 テレビ視聴画面でテレビ視聴エリアをタップ

4 **□**(録画終了)

録画を終了します。

✓お知らせ

- ・録画するテレビ番組をmicroSDカードに保存する場合は、あらかじめ本端末でフォーマットしたmicroSDカードを使用してください。→P126
- ・録画を開始するのに必要な本体メモリまたはmicroSDカードの空き容量は、フルセグの場合は38MB以上、ワンセグの場合は1MB以上です。また、必要な電池残量は11%以上です（充電中は電池残量に関わらず、録画の開始ができます）。
- ・フルセグ／ワンセグの録画中に次の状態になると、録画が自動で停止します。
 - 本体メモリまたはmicroSDカードの空き容量がフルセグは19MB以下、ワンセグは0.5MB以下
 - 電池残量が10%以下
 - ワンセグの録画容量が2GB（約600分）
- ・録画したテレビ番組は、著作権保護が設定されているデータとして保存されます。メールに添付することはできません。
- ・受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
- ・録画中は、チャンネルの切り替えや、フルセグ／ワンセグの視聴モードの切り替えはできません。
- ・録画と負荷が大きな機能を同時に使用すると、正常に録画できない場合があります。
- ・録画中にデータ通信サービスを行うと、テレビの受信状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
- ・録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了することがあります。

❖ 録画番組の再生

1 テレビ視聴画面で → [録画ファイルリスト]

録画一覧画面が表示されます。

- 録画一覧画面で [本体] / [MICROSD] をタップすると、保存先の表示を切り替えられます。

2 データを選択

再生画面が表示されます。

- 前回途中で再生を終了した場合は、続きから再生されます。
- 再生画面をタップして、再生コントローラーを表示します。

: 15秒戻し

: 早戻し (タップするごとに2倍/10倍/30倍/120倍早戻しに切り替え)

/ : 一時停止/再生

: 早送り (タップするごとに2倍/10倍/30倍/120倍早送りに切り替え)

: 30秒送り

✓お知らせ

- 録画一覧画面でデータをロングタッチ→をタップすると、全件選択、プロパティの表示ができます。なお、本体保存したフルセグ録画データを選択した場合のみ、[microSDへ移動]が表示され、移動できます。移動したデータは本体へは戻せません。
- データのタイトルを変更するには、録画一覧画面でデータをロングタッチ→→タイトルを入力→[OK]をタップします。
- 録画一覧画面でデータをロングタッチ→→[はい]をタップするとデータを1件削除できます。

- 録画一覧画面でデータをロングタッチ→削除するデータをタップして複数選択→→[はい]をタップすると選択削除できます。
- 録画一覧画面でデータをロングタッチ→→[全件選択]→→[はい]をタップするとデータを全件削除できます。

◆ テレビの各種設定

1 テレビ視聴画面で → [設定]

2 各項目を設定

文字スーパー設定: フルセグの文字スーパーの表示/非表示と言語を設定します。

データ放送設定: データ放送を表示したときの各種設定 (位置情報利用設定、端末情報利用設定、放送局メモリー削除、郵便番号設定) を行います。

オフタイマー: テレビをオフにするまでの時間 (OFF/10分/30分/60分/90分/120分) を設定します。

フルセグ録画設定: テレビ番組の録画保存先と、録画時にデータ放送も合わせて録画するかを設定します。

受信機のデバイスID: 受信機のデバイスIDを表示します。

ご利用にあたって: ご利用にあたっての情報を表示します。

ソフトウェアライセンス: ソフトウェアライセンスを表示します。

❖ 字幕表示の設定

1 テレビ視聴画面で → [字幕表示] をタップしてオン／オフを設定

- ワンセグの横画面表示中には [字幕表示位置] が表示され、字幕の表示位置を設定できます。
- 視聴中の番組が対応している場合は、[音声種別] [音声言語] [字幕言語] [映像切替] も表示され設定できます。

◆ チャンネル設定

❖ チャンネルリストの作成

1 テレビ視聴画面で → [エリア切替]

2 未登録の項目をロングタッチ→[エリア情報設定]→地方、都道府県、地域を選択

3 [OK]

❖ チャンネルリストの切り替え

1 テレビ視聴画面で → [エリア切替] → チャンネルリストを選択

- 現在使用しているチャンネルリストは、右側に  が表示されます。

カメラ

◆ 撮影時の注意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られています、常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の温度が高い状態が続くと、カメラを利用できなくなる場合があります。本端末の温度が下がってからカメラをご利用ください。
- 本端末の電池残量が少ないと、カメラを利用できなくなる場合があります。十分に充電してからカメラをご利用ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- 待機中に約2分間操作をしないとカメラは終了し、ステータスバーに  が表示されます。

- 被写体との距離を約10cm以上にすると、オートフォーカスでシーン別の撮影モードにより自動的にピントを合わせます。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。

なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆ 撮影画面の見かた



静止画撮影画面



動画撮影画面

① 位置情報アイコン

- 位置情報を付加するように設定しているときに表示されます。→P97

② フォーカス枠

- 顔が検出されない場合は、画面の中央に自動的にフォーカスを合わせてフォーカス枠を表示します。顔が検出された場合は、顔に自動的にフォーカスを合わせて顔検出枠を表示します。

③ インジケーター

現在の撮影モードが静止画撮影（左）／動画撮影（右）を示します。

④ 直前に撮影した静止画／動画

- タップすると直前に撮影した静止画や動画を確認できます。撮影前は静止画や動画は表示されていません。

⑤ シャッターボタン

⑥ 露出補正アイコン

露出を補正します。アイコンの隣に露出補正の設定を示すアイコンが表示されます。

- 動画の録画中は表示されません。

⑦ カメラ切替

アウトカメラ／インカメラを切り替えます。

⑧ メニューアイコン

- 動画の録画中は表示されません。

⑨ ホワイトバランス調整アイコン

ホワイトバランスを調整します。アイコンの隣にホワイトバランスの設定を示すアイコンが表示されます。

- 動画の録画中は表示されません。

⑩ 録画開始ボタン

✓お知らせ

- カメラの起動時に保存先を切り替える確認画面が表示された場合は、[いいえ]／[切り替え]をタップします。
- 空き容量が少なくなると、静止画撮影時は撮影可能残り枚数、動画撮影時は撮影可能残り時間が撮影画面に表示されます。

◆ 静止画撮影

1 ホーム画面で

静止画撮影画面が表示されます。

2 撮影画面に被写体を表示→

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

- 音量キーの上を押しても、静止画を撮影できます。

■ 静止画撮影画面の主な操作

ズーム：画面をピンチイン／ピンチアウト

- ピンチイン／ピンチアウトするとスライドバーが表示され、スライドバーを使用してズームすることもできます。なお、インカメラでのズーム機能は利用できません。

インカメラ／アウトカメラの切り替え：撮影画面で

動画撮影画面への切り替え：撮影画面を左へフリック

- 動画の撮影画面を右へフリックすると、静止画撮影画面に戻ります。

◆ パノラマ撮影

カメラを左右にゆっくりと動かすことで、パノラマ写真を撮影できます。

- インカメラでのパノラマ撮影はできません。

1 ホーム画面で

2 [MENU]→[パノラマ]

3 撮影画面に被写体を表示→ (開始)

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 音量キーの上を押しても、撮影を開始できます。
- 撮影時にカメラを動かす速度が速すぎた場合は、「速すぎます」と表示されますので、表示されないようにカメラを動かします。

4 [完了]

撮影停止音が鳴り、撮影が停止してパノラマ画像が保存されます。

- 音量キーの上を押しても、撮影を停止できます。
- カメラを動かして続けて撮影が終了した場合は、撮影停止音は鳴りません。

■ パノラマ撮影画面の主な操作

パノラマ撮影画面を閉じる：[戻る]

- パノラマ撮影に設定する前の撮影モードに戻ります。

◆ 静止画のオート撮影機能

次の静止画撮影の機能については、本端末が自動的に調整して撮影できます。

- 手ぶれ補正機能は常にONの状態です。

■ おまかせオートフォーカス

被写体との距離が約10cm以上あれば、カメラを向けるだけで自動的にピントを合わせます。

- 被写体に人物が入っている場合は、顔の検出枠が優先的に表示され、ピントを合わせます。

■ タッチオートフォーカス

撮影画面の被写体にタップして自動的にピントを合わせます。[タッチ シャッター] をONに設定している場合は、被写体をタップしてピントが合うと、オートフォーカスロック音とシャッター音が鳴り、撮影します。

■ ホワイトバランス

さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで撮影できるように自動的に調整します。

■ シーン別撮影

被写体や状況に合わせたシーンを自動的に認識して、最適なシーン種別へ切り替えて撮影できます。

- 撮影画面にQRコードを表示させた場合は、QRコードを読み取って結果を表示します。

■ 自動露出調整

撮影時に、まわりの明るさに応じて露出を自動的に調整します。オートフォーカスの顔検出枠が表示された場合は、顔の明るさで固定されます。明るさを優先させたい被写体がある場合に画面の被写体をタップして固定すると、顔検出されていても被写体の明るさを優先できます。

■ ちらつき調整

蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

◆ 静止画の撮影設定

静止画撮影画面に表示されている「MENU」をタップして、撮影時の次の設定を変更できます。

- ホーム画面、アプリ一覧画面以外からカメラを起動した場合、設定できない項目があります。

■ 撮影モード

静止画／動画／パノラマ／QRコードから撮影モードをタップして選択します。

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

- 電話帳など他のアプリからカメラを連携して起動すると、一時的に撮影サイズが「FullHD 1920×1080」に変更される場合があります。

■ セルフタイマー

シャッター操作をしてから2秒後 (🕒2)、3秒後 (🕒3)、5秒後 (🕒5) に撮影されるように設定できます。

■ 位置情報

撮影した画像に位置情報を付加するように設定します。位置情報を付加するように設定した場合、位置情報を取得中(未取得)は📍、取得すると📍のアイコンが撮影画面に表示されます。

■ 保存先

撮影データの保存先(本体／SDカード)を選択します。

- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます。

■ グリッド表示

写真の構図を決める補助として、撮影画面の補助線(グリッド)の表示を設定します。

■ その他

タッチ シャッター：撮影画面の被写体にタップして、ピントが合うとオートフォーカスロック音とシャッター音が鳴り撮影するように設定します。

露出／WB調整：撮影画面の露出補正 (🔍)／ホワイトバランス調整 (WB) アイコンの表示を設定します。

◆ 動画撮影

1 ホーム画面で📷

2 画面を左にフリック

動画撮影画面が表示されます。

3 撮影画面に被写体を表示→📷(開始)

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 音量キーの上を押しても、撮影を開始できます。
- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。

4 ■(停止)

撮影停止音が鳴り、撮影が停止します。

- 音量キーの上を押しても、撮影を停止できます。
- 保存先の空き容量が足りなくなった場合、または録画データが最大ファイルサイズ(約4GB)になった場合には録画が停止します。

■ 動画撮影画面の主な操作

録画中の静止画撮影：録画中に表示されるをタップ

・録画中の静止画撮影では、シャッター音は鳴りません。

ズーム：画面をピンチイン／ピンチアウト

・ピンチイン／ピンチアウトするとスライドバーが表示され、スライドバーを使用してズームすることもできます。なお、インカメラでのズーム機能は利用できません。

・録画中もズーム機能を利用できます。

インカメラ／アウトカメラの切り替え：撮影画面で／

静止画撮影画面への切り替え：撮影画面を右へフリック

・静止画の撮影画面を左へフリックすると、動画撮影画面に戻ります。

◆ 動画のオート撮影機能

次の動画撮影の機能については、本端末が自動的に調整して録画できます。

・録画音声は常にONの状態です。

■ オートフォーカス

録画開始時に画面中央にピント合わせを行います。

■ タッチオートフォーカス

録画前や録画中に、撮影画面の被写体にタッチすると、検出枠を表示して自動的にピントを合わせます。

■ ホワイトバランス

さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで録画できるように自動的に調整します。

■ ちらつき調整

蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

◆ 動画の撮影設定

動画撮影画面に表示されている [MENU] をタップして、撮影時の次の設定を変更できます。

■ 撮影モード

静止画／動画／パノラマ／QRコードから撮影モードをタップして選択します。

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

■ 保存先

録画データの保存先（本体／SDカード）を選択します。

・選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます（ただし、動画撮影中は録画を停止します）。

■ 露出／WB調整

撮影画面の露出補正 () ／ホワイトバランス調整 () アイコンの表示を設定します。

◆ QRコードリーダー

QRコードのデータを読み取り、利用できます。

・QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。

・傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。

❖ QRコードの読み取り

- 被写体（QRコード）からカメラを約10cm以上離して読み取ってください。
- QRコードが読み取りにくい場合は、QRコードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 ホーム画面で

2 [MENU]→[QRコード]

QRコード撮影画面が表示されます。

3 撮影画面にQRコードを表示→スキャン

読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。

分割されたデータを読み取る時：

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを連結して表示できます。未取得のデータがある場合、続けて読み取ってください。

QRコード撮影画面を閉じる：[←]

- QRコードの読み取りに設定する前の撮影モードに戻ります。

4 読み取りデータを確認

データの保存：読み取り結果画面で [メニュー] → [履歴を保存] → 履歴欄をタップ

履歴の表示：QRコード撮影画面で [メニュー] → [履歴] → 履歴を選択

❖ QRコードデータの主な利用

読み取り結果画面で、読み取ったQRコードデータを利用します。

- 読み取ったデータによって、表示されるメニューは異なります。

電話帳に一括登録：[メニュー] → [電話帳一括登録] → 電話帳を登録

電話帳に登録：電話番号を選択→[電話帳に追加] → [新規連絡先として登録] / [既存の連絡先に追加]

メールの作成：メールアドレスを選択→メールを作成
サイトまたはホームページに接続：URLを選択

アルバム-Scene

カメラで撮影した静止画や動画、本端末にダウンロードした静止画や動画を表示／再生します。

- 次のファイル形式のデータを表示／再生できます。ただし、ファイルによっては表示／再生できない場合があります。
静止画：JPEG、BMP、GIF※、PNG、WEBP
動画：H.263、H.264、H.265、MPEG-4、MPEG-2、VP8、VP9
※ GIFアニメーションは再生できません。
- Google Playで公開されているリプレックス社の「Scene」とは一部アプリケーションの仕様が異なります。

◆ 静止画表示／動画再生

1 ホーム画面で→[アルバム-Scene]

2 画像を選択

- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。
- ピンチイン／ピンチアウトで縮小／拡大します。
- 動画はをタップして再生します。音量キーを押して音量を調節したり、表示されるアイコンやスライダーで再生、一時停止、早戻し、早送りなどの操作をします。

■ 主なアイコンと機能

※1：各種設定、ヘルプ、Sceneについての情報を表示
：一覧画面を「すべての写真」／「未整理の写真」／「動画」に切り替え

※2：[Sceneの使い方]／[アカウント登録について]を表示

：写真の送信、削除などの各種操作

：カメラの起動

- 表示中の画面や操作状態により、表示される項目は異なります。

※1 画面左端から右へスライドしても表示できます。

※2 画面右端から左へスライドしても表示できます。

◇ 画像を分類して表示

画像をアルバムで分類できます。

1 画像一覧画面で→[整理モード]

分類画面が表示されます。

2 画像をロングタッチ→アルバムにドラッグ

複数の画像を分類：複数の画像を選択→画像をロングタッチ→アルバムにドラッグ

- 日付をタップすると、タップした日付に撮影した画像を一括選択できます。
- 画像が選択状態のときは画像にチェックが付き、画面上部に選択件数が表示されます。再度画像をタップすると、選択状態が解除されます。

アルバムを追加：[新規アルバム作成] →アルバム名を入力→[OK]